

令和4年度 議会報告会

結果報告書



栃木市議会
議会報告会運営委員会



—報告書目次—

1. 開催概要	1
2. 報告に対する意見等	3
3. 常任委員会意見交換会における意見等	12
4. 高校生との意見交換会における意見等	17
5. 高校生との意見交換会アンケート結果	68
6. 令和4年度議会報告会検証結果	74

参考資料

• 議会報告会運営委員会の設置	75
• 議会報告会運営委員会開催状況	76
• 令和4年度栃木市議会報告会開催要領	77
• 高校生との意見交換会開催要領	80
• 議会報告資料	83
• 令和3年度 議会報告会開催に伴う提言書に対する市の対応	103

1. 開催概要

■議会報告会

市が行う「ふれあいトーク」との差別化や、若い世代・女性の参加者が少ないといった課題に対応するため、書面や動画、ラジオ等のさまざまな方法により報告を行った。

報告のテーマ

- ・ 新型コロナと原油価格・物価高騰対策への議会からの提言について
- ・ 令和3年度決算の審査について

報告方法

- ・ 市施設等（23か所）に報告資料を設置した。
〔市役所本庁舎、大平総合支所、藤岡総合支所、都賀総合支所、西方総合支所、岩舟総合支所、キョクトウとちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）、大宮公民館、皆川公民館、吹上公民館、寺尾公民館、国府公民館、大平公民館、藤岡公民館、都賀公民館、西方公民館、岩舟公民館、栃木図書館、大平図書館、藤岡図書館、都賀図書館、図書館西方館、図書館岩舟館〕
- ・ 議会ホームページに報告資料を掲載した。
- ・ 「とちぎ市議会だより 第55号」(11月18日発行)に報告資料の概要版を掲載した。
- ・ 報告動画を作成し、YouTube や議会ホームページ、市のFacebook 等で公開した。

タイトル	内容	再生数（12月1日時点）	
		YouTube	Facebook
とち介とゆるっと議会報告会	議会からの提言により実現した原油価格・物価高騰対策の紹介、令和3年度決算の概要	199	58

- ・ FMくらら857の番組に議員が出演し、議会報告のテーマについて説明を行った。

日時	番組名	出演者
11月4日（金） 11:00~11:35	とち介Pのハッピータウン	議会報告会運営委員会委員 針谷育造、白石幹男

報告等に対する意見集約

- ・ 11月1日から11月30日まで、報告等に対する意見の集約を行った。

意見受付方法	提出数
意見箱への投函（市役所本庁舎及び各総合支所）等	53
議会ホームページの意見送信フォームから送信	2



■意見交換会

意見交換会については、年度ごとに課題を設定し、それに関係する市民等と意見交換を行うこととした。今年度は若者世代の投票率の向上を課題とし、若者世代に議会に関心を持っていただき、政治参加を促すための主権者教育を行うため、市内高校生を対象とした。

高校名	日 程	参加人数
栃木翔南高等学校	11月 1日（火）	22
栃木高等学校	11月 2日（水）	15
栃木商業高等学校	11月 4日（金）	16
栃木女子高等学校	11月 8日（火）	12
栃木工業高等学校	11月10日（木）	13
栃木農業高等学校	11月16日（水）	17
学悠館高等学校	11月17日（木）	14
國學院大學栃木高等学校	11月24日（木）	15
	参加人数合計	124

議会PR動画

- ・ 議会PR動画を作成し、意見交換会で上映した。また、YouTubeや議会ホームページ、市のFacebook等で公開した。

タイトル	内 容	再生数（12月1日時点）	
		YouTube	Facebook
突撃！栃木市議会 高校生が調べてみた ～意外と知らない議会のコト～	議会活動の概要と議員の紹介	235	116

■常任委員会意見交換会

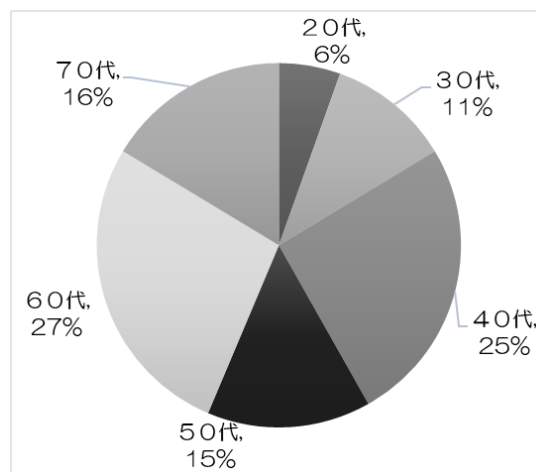
常任委員会ごとにテーマを設定し、テーマに合った団体と意見交換を行った。

委員会名	日程・場所・相手方・テーマ	参加人数
総務常任委員会	10月27日（木）栃木市役所（全員協議会室） 栃木市消防団員 「栃木市消防団組織の活動状況と課題について」	10
民生常任委員会	11月10日（木）栃木市役所（全員協議会室） 子ども食堂運営団体等関係者 「子ども食堂の現状と課題について」	6
産業教育常任委員会	11月10日（木）千塚小学校 千塚小学校現地視察会（ALTの授業）	—
建設常任委員会	11月 7日（月）栃木市役所（全員協議会室） 栃木市管工事業協同組合組合員 「管工事業関連事業における現状と課題について」	8

2. 報告に対する意見等

1. 年齢構成

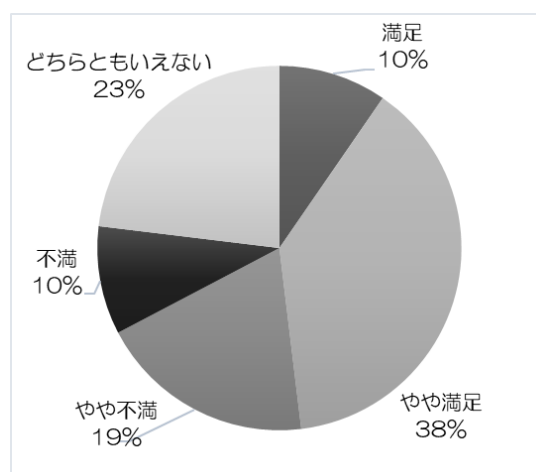
10代	0	0%
20代	3	6%
30代	6	11%
40代	14	25%
50代	8	15%
60代	15	27%
70代	9	16%
80代以上	0	0%
合計	55	100%



2. 新型コロナと原油価格・物価高騰対策への議会からの提言について

(1) コロナ禍における原油価格・物価高騰対策に対する議会の提案した取組についてはいかがですか。

満足	5	10%
やや満足	20	38%
やや不満	10	19%
不満	5	10%
どちらともいえない	12	23%
合計	52	100%



<満足>

- ・ 事業者への経営支援してくれることは、ありがたいことだから。
- ・ 市民、地域経済への支援に取り組んでいると思うから。
- ・ 子育て支援はのちの宝。

<やや満足>

- ・ 取組についてはやや満足。成果はこれから。
- ・ 物価高騰に対する支援を引き続き行ってほしい。
- ・ 園児を対象にしたところ。
- ・ 子育て世帯で収入が減った方もいるので、支給額が適当なのか。
- ・ 生活者の目線でがんばっているから。
- ・ 本当に困っている人と、そうでない人の区分けがきちんとされているか不透明。

- ・ 全て重要と考えるが、中でも1～3は特に支援が必要と思っているため。
- ・ 物価高騰しているので、給付金、補助金などは助かる面もあるが、高齢者を抱えている家庭も苦労しているので、その辺への対策もお願いしたい。
- ・ 低所得世帯のみならず、個々の生活事情はあると感じている。
- ・ 消費者への還元ができていないかどうかわからない。
- ・ 金額が少ない。
- ・ 報告にあった支援、補助は妥当な金額がよく分からないが結構だと思う。新型コロナ交付金ということだが、医療方面への支援はいかがだったのか。

<やや不満>

- ・ 給付金、補助金はあるが、将来的な取組について提案がほしい。
- ・ これ以上物価が上がらないように努力してほしい。
- ・ そこまで物価が高騰している実感がないから。
- ・ 事業者だけでなく、個人への補助も必要ではないか。
- ・ 対象が限られている。
- ・ 解決が見えないので。
- ・ 一般家庭において支援がほしい。
- ・ 影響を受けているのは一部の事業者や家庭だけではないので、幅広い対策をしてほしい。
- ・ 影響を受けている事業者はもっと幅広くいるので、対象を広げてほしい。

<不満>

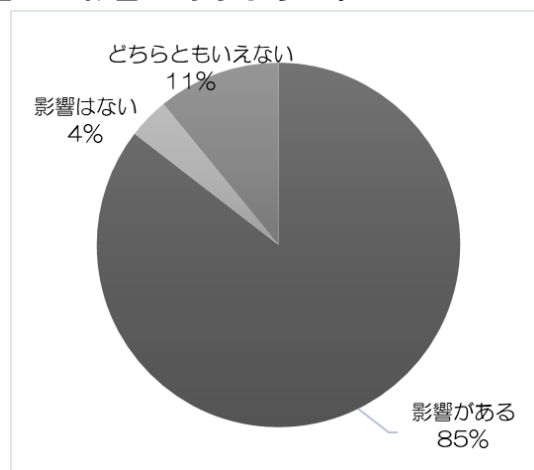
- ・ 良くなっている感じがしない。
- ・ 何も変化がないから。
- ・ 栃木市の行政、議会はすべての市民が幸せに暮らせる取組をしているか。

<どちらともいえない>

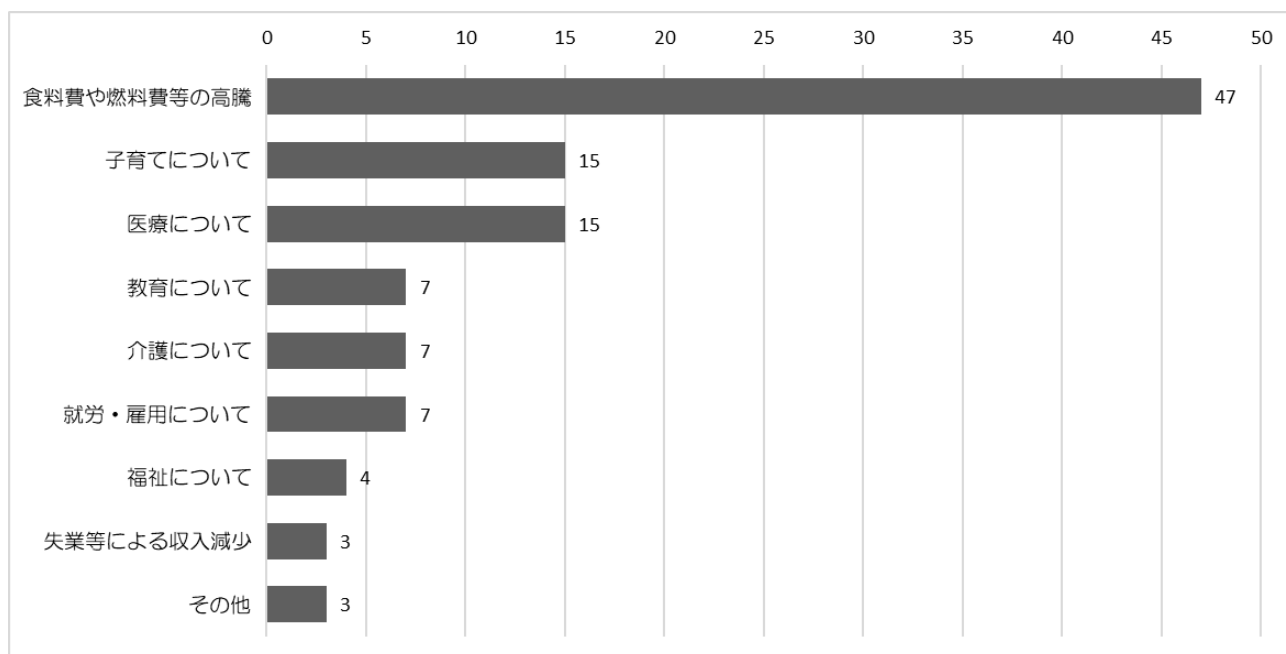
- ・ 年明け以後もこの状況が続くことを考えると、第2第3の対応策を準備しておくべき。
- ・ 申請の基準まで金額が満たしていなかった。
- ・ 受給対象ではないため、効果が見えない。
- ・ 今後、価格が高止まりした場合、継続的な取組を視野に入れるべき。
- ・ 一部の方への施策になっており、認知度が低いから。
- ・ 物価の高騰をそんなに実感していない。
- ・ 市でやっていることをよく理解していなかった。
- ・ 補助金による効果が分かるような結果が知りたい。

(2) コロナ禍における原油価格・物価高騰による生活への影響はありますか。

影響がある	47	85%
影響はない	2	4%
どちらともいえない	6	11%
合計	55	100%



(3) 影響があるとお答えした方は、どのようなことに特に影響がありますか。（3つ選択）



<その他>

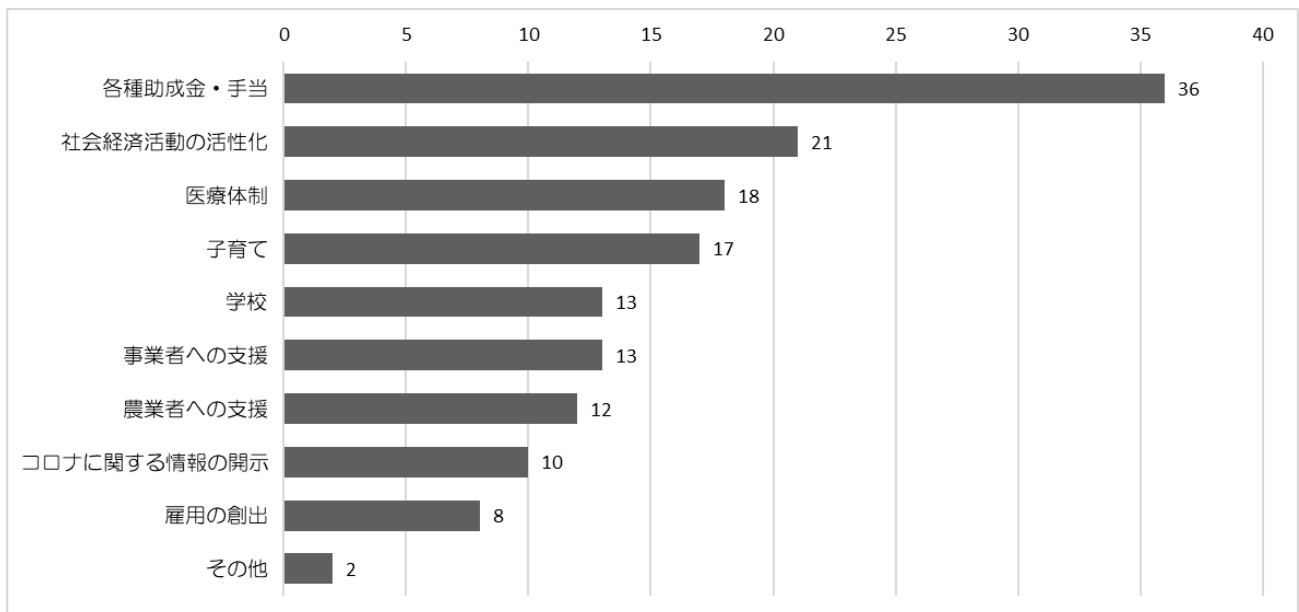
- ・ 農作業（肥料の高騰）
- ・ 光熱費
- ・ 外食費

<具体的なご意見>

- ・ コロナ禍に病院に行くと病院内でコロナに感染するかもしれないとの思いから、診察を控えめにしまい、それによって病気の悪化が進んでしまう。
- ・ 月々の支出が増え、抑制しなければならないことが増える。
- ・ 物価が高騰しているのので、家計に影響が出ている。プレミアム商品券をまた販売してほしい。

- い。（過去に購入できたことがないので、初めて購入する方優先など）
- ・失業等については、会社で一緒に働いている派遣の方などには多くの影響があったと感じている。
 - ・市民に平等にしてほしい。
 - ・お店をやっているが、燃料費は苦勞する。
 - ・これから冬を迎えるので、灯油代が心配である。
 - ・特に高齢世帯（年金生活世帯）においては、燃料費、食費等の増加は生活苦に直結すると思う。継続的な支援が必要ではないか。
 - ・今や食料費や燃料費等の高騰の問題は、他国の戦争により、コロナ禍のみでなく、混迷を極めると思いさまざまな不安がある。
 - ・介護、医療について、コロナの増減幅により適切な医療を受けることが難しい場面があった。入院時のPCR検査の時間が大きく、医療従事者、患者ともに負担が大きいと感じた。
 - ・子どもが学生で一人暮らしをしており、2世帯分の負担があるため。
 - ・施策に対する具体的な内容を、末端の市民まで伝えられているか疑問。（高年齢者など）
 - ・食料費と光熱費、ガソリン代と物価が上がりすぎのため生活がしづらく、子ども達の支援をもっと手厚くしてほしい。年金受給者も医療費の負担が大きく補助が欲しい。
 - ・子どもの食費が高くなった。
 - ・子育てに必要なものが値上げされている。

(4) 新型コロナ対策について、今後市に対応してほしいことはどのようなことですか。
（3つ選択）



<具体的なご意見>

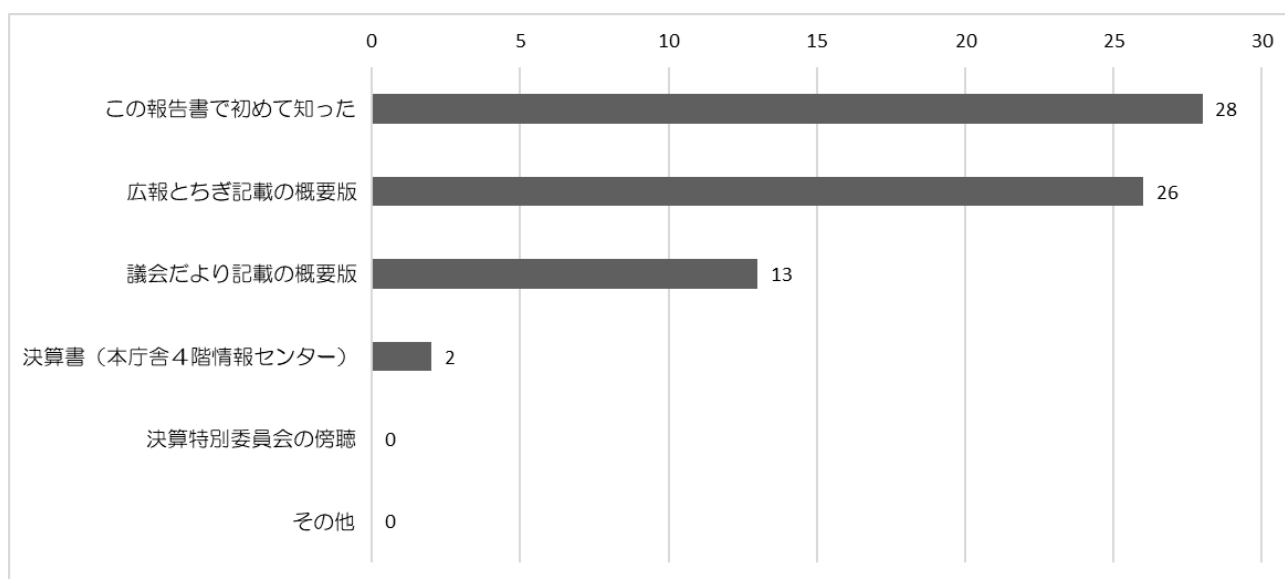
- ・特に教育現場における集団生活への影響については、家庭、児童生徒、地域への正しい情報の伝達をお願いしたい。

- ・「新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ第〇報」といったお知らせが届かないためにワクチン接種を予約するのも受けるのも後手になってしまう。命に関わることなので、市民全員が平等の立場で知ることができるよう、一人の人にも漏れがなきよう知恵を出して考えてもらいたい。
- ・情報弱者と思われる方達への対応が重要と思う。
- ・農業者への支援については、手続きを分かりやすく、なるべく簡素化してほしい。
- ・年金生活者や子育て世帯への支援はないのだろうか。
- ・営業しても、コロナでお客様も遠慮しているので、経営が難しい。
- ・コロナになった時の（特に一人暮らし）支援物資の敏速な対応。
- ・子ども達への十分な感染対策を打ち出していただきたい。高齢者から重症化を防ぐのは理解できるが、可能な限り小さい子ども達を無理なく守れる策をお願いしたい。
- ・今後、第8波、インフルエンザの同時流行になった時の医療体制をしっかりと準備していただきたい。
- ・助成金の全世帯への拡大、市内各地域に公平な社会経済の活性化。
- ・商業施設などの誘致で活性化。
- ・社会経済活動の活性化を優先的、長期的な施策があれば。
- ・学校生活や社会活動において、過剰なコロナ対策をやめてほしい。
- ・抗原検査キットの無料化か補助が欲しい。（1回2,000円で家族分だと負担が大きい）
- ・医療は5類に分類されると負担が大きく、医者にかかるのも大変。
- ・学校への市費教員や支援員の増員。

3. 令和3年度決算の審査について

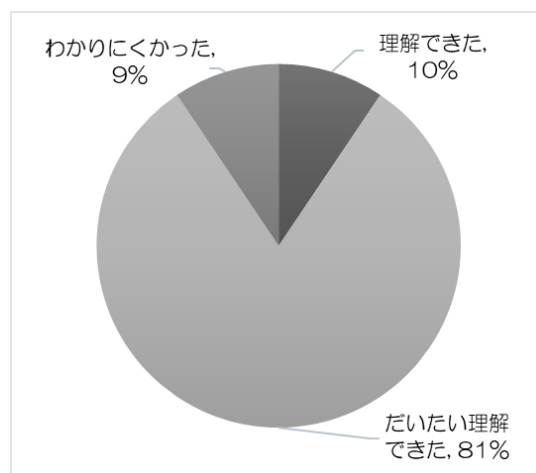
(1) これまで、栃木市の歳入歳出決算の内容をどのように知りましたか。

(あてはまるものをすべて選択)



(2) 【令和3年度決算の審査について】の報告書から、決算の審査の流れはご理解いただけましたか。

理解できた	5	10%
だいたい理解できた	43	81%
わかりにくかった	5	9%
合計	53	100%



<わかりにくかった>

- ・ 全部分かりにくい。
- ・ 報告書自体の構成が煩雑すぎる。
非常に読みにくく構成を勉強するべき。

(3) 令和3年度決算に関する感想・要望をお聞かせください。

■ 決算資料の設置場所について

- ・ コンビニなどで決算資料が見られれば良いと思う。
- ・ 難しいかもしれないが、決算資料を最寄りのスーパーなどに設置できないか。
- ・ 決算資料はHPで閲覧可能か。
- ・ 決算資料をコンビニ等に置いてほしい。
- ・ 決算資料をよく利用する銀行などに置いてほしい。
- ・ 決算資料をショッピングセンターや待ち時間が長い病院などに置いてほしい。

■ 報告資料の内容について

- ・ 資料をもう少し分かりやすくしてほしい。興味の引く内容を載せてほしい。
- ・ 資料は全体でなくてもカラーにしてほしい。また、特別会計とは何か、用語解説をしてほしい。
- ・ 報告内容の確認方法が多岐に渡り良いと思う。
- ・ 広報とちぎ等は深く読むまではいかないが、概要は判っていたい気持ちである。給付金により歳入、歳出の減額が大きいことは理解するが、民生費の増額と教育費の減額の2点が気になった。民生費はコロナ禍での対応と察するが、教育費の減額は少々心配になった。内容は判らないが、維持はしていかないといけないと感じた。
- ・ 諸収入、その他の歳入が18%あるので、その詳細がある程度分かればなお良いと考える。
- ・ 繰越金37億は良いとしても、教育費に少し回してほしい。
- ・ 教育費の減額が大きいのはなぜか理由が知りたい。むしろ増額すべき項目ではないか。増減が大きいものは理由も公表してほしい。

■ その他

- ・ 特別定額給付金について一時的なしのぎにはなるが、長い目でいくと何も変わらないため、将来的に改善される取組をしていくべきである。

4. 市政全般に関するご意見・ご要望

■子育て関係について

- ・子どもの通学について、近所の児童が少なく、車での通学となってしまっている日がある。少子化の現状が表れており、対策をお願いしたい。
- ・子育て支援をしっかりとしていかないと将来が不安。
- ・もっと子育てにお金を使ってほしい。
- ・2021年度に完成予定だった「市中央児童センター」は災害復旧により延期になっているが、いつ完成するのか。
- ・市立保育園のオムツの持ち帰りは必要なのか。園で処理する市町村も多い。
- ・西方なかよしこども園では3~5才児も主食の提供があるが、他の市立保育園は主食を持参しているので、同じように提供してほしい。

■新型コロナ関係について

- ・新型コロナウイルスワクチン接種会場が大平カインズモールに偏りすぎである。車もなく、体が不自由なのでカインズモールまで行けない。どうして身近な場所で接種ができないのかとってしまう。市民の弱者、老人、車の免許がない人間の立場を理解してもらいたい。
- ・新型コロナ関連の情報について、パソコンも持たず、新聞も取っておらず、車の免許証もない市民に対しても漏れなく周知されるように対策をお願いしたい。
- ・「新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ第〇報」を自治会の回覧（至急）で回してほしい。
- ・身体が不自由な方、年配の方、車の免許証がない方は身近でワクチン接種を受けられるようにしてほしい。

■産業振興について

- ・新たな産業（企業誘致）の創造を期待する。
- ・大型ショッピングモールなどの誘致に力を入れてほしい。
- ・スーパー、薬局、コンビニだけでなく、他県から人が呼べる商業施設誘致など積極的な活性化活動を実施していただきたい。
- ・人口を増やすこと。（工業団地等）

■都市整備について

- ・栃木駅南の今後の開発予定はどのようになっているのか。
- ・未来の街（想像図）が見えるような看板があるとイメージしやすいと思う。
- ・大平下駅、新大平下駅周辺の駐車場の整備。
- ・農道含めた外灯のLED化。

■各種支援について

- ・子ども手当は充実していると感じるが、老人に対しては不満あり。年金が下がっているのに介護保険の枠組み（所得制限）が変。
- ・省エネ家電買換え支援事業を行っているが、栃木県とも併用ができ、物価高騰の中での支援はとても良いと感じた。今後も経済状況にあわせた対策を行ってほしい。
- ・带状疱疹ワクチンの助成をしてほしい。

- ・繰越金が多いようだが、その部分でもう少し手厚い援助ができたのではないかと思うので、来年度の予算で考えてほしい。

■空き家関係について

- ・空き家、空き地問題を解決してほしい。
- ・空き家対策に力を入れてもらいたい。

■その他

- ・ふれあいバスがいつも空のまま走行しているので、見直しを求める。
- ・さまざまな取組を行っている状況はTVなどでも常に観るようにしている。栃木市各町、全体の住民に対しての施設等、目立つところは活性化して雇用も増加するので大変良いと思う。反面、コロナ禍により、各自治体単位（小さいところ）では活動が停滞したままで、進もうか止まっていようか判断が難しく、自治会を抜ける方が増加の一途である。草の根活動的な取組が今欲しいと感じている。例えば、自治会長さん、班長さんの意見を吸い上げ、現在の役割を変えてゆき、困りごとをタイムリーに対応できる体制づくりに期待したい。高齢化が進むほど必要と考える。
- ・海外ではコロナ対策は終わっているところも多く、マスクやワクチン接種も不要になっている。大人は少し自由だが、子ども達は決まりに縛られた生活を続けている。どのように新しい時代を生きてゆくのか考える時期だと思う。栃木市の活性化とともに、明るい社会生活づくりや豊かな自然、のびのびした教育、歴史と伝統を大切に温故知新で魅力ある栃木市になると良い。
- ・空冷川の東雲橋周辺の川に水草が生い茂っており、水害が不安なので、対策してほしい。
- ・横断歩道で歩行者がいるのに止まらない車が多いので、対策をお願いしたい。歩行者が横断しているのに止まらない車を自動的に撮影する機械を開発し、違反者の車のナンバーを割り出し、罰金を科すような仕組みの導入を提案する。
- ・栃木市中心以外の地域の「街」活性化。（藤岡町など）
- ・市政に対してもっと関心が持てるようにしてほしい。

5. 議会へのご意見・ご要望

■議会・議員について

- ・透明性のある議会の運営を望む。
- ・各支援対策を軸に市民に開けた議会になってほしい。
- ・栃木市全体が魅力ある街となるよう、活発な開かれた議会を。
- ・国、地方を問わず議員の不祥事が多すぎる。本市でも先の選挙で当選議員2名が公選法違反を犯している。明らかに勉強不足である。人生死ぬまで勉強である。議員バッジを付けた以上、国民、市民の範となるよう活動していただきたい。期待している。
- ・議員の皆さまにはエリートとしての自覚を持っていただきたいとともに、なおいっそう勉強していただきたい。
- ・家庭、地域と市政を結ぶ網になってほしい。
- ・議員一致団結して市民のために働いてほしい。

- ・ 市民に開かれた議会、議員であってほしい。
- ・ 答弁などに熱意を感じられない。
- ・ コロナ中なので、まだ傍聴に行けない。

■議会の広報広聴について

- ・ 議会だよりを楽しみにしているので、今後も理解しやすいように工夫して出していただきたいと思う。
- ・ 議会報告会をコロナへの対応を考え、小規模として開催できないか。資料やHPの視聴等でのアンケートでは市民の声は伝わらないところもある。
- ・ 市民の意見を聴き取る機会を作る等、積極的な活動をお願いしたい。（投票率向上につながるのではないか）
- ・ 市議会に関心を持ってもらえるような情報発信に努めていただきたい。また、市民の声を反映しやすい議会となるよう取組をお願いしたい。
- ・ 議員と高校生の意見交換会は、議員を身近に感じられる良い機会だと思う。若者達の豊かな発想を取り入れて、活気ある栃木市になることを願いたい。

■その他

- ・ 病院によってコロナ検査の医療費がまちまち。医療費を一定にして下げてほしい。
- ・ 若者世代の投票率が上がる面白い施策を推進してください。
- ・ 支援、補助の結果どうなったかを公表する機会があると良いと思う。

3. 常任委員会意見交換会における意見等

総務常任委員会

相手方：栃木市消防団員

テーマ：栃木市消防団組織の活動状況と課題について

- ・ 団員は責任感を持って活動をしており、このような団員を大切にするためにも、出勤報酬についてもう少し上げていただければと感じている。
- ・ 高齢の団員が増えており、団員の確保が一番の課題である。
- ・ 事業所等に対して消防団活動に対する理解を深めていただければ、消防団員の確保につながるのではないかと思う。
- ・ 災害の記憶は時間とともに薄れていってしまうので、水がこの高さまで来たことが分かるように電柱などに印を表示する取組をしていただければと思う。
- ・ 地震のときと水害のときでは避難場所が違うことについて、ハザードマップ等にももう少し分かりやすく表示していただければと思う。
- ・ 近年はサラリーマンの方が団員になることも多く、昼間の火災などではどうしても出勤してもらえずに、人手不足になることもある。できれば自営業の方を勧誘したいが、なかなか人が集まらず大変苦慮している。
- ・ 土砂災害の事案について、山間地域の住民に周知徹底し、身近な問題として防災に取り組んでいただければと思う。また、市、消防、警察が連携し、協力体制を強化することで、住民は心強く感じると思うので、ぜひお願いしたい。
- ・ 小中学校などで授業の合間などに少し消防団の紹介や活動の内容を知っていただく時間帯を設けるなど、ある程度前から消防団について少し触れていると、入団のしやすさにつながるのではないかと思う。
- ・ 他の地域から移ってきた方にとっては、消防団は地元色の濃い組織と捉えられやすく、勧誘をしても敬遠されがちである。
- ・ 団員が確保できたとしても、日中の火災や災害については出勤できる方が減少しているため、火災・災害時に出勤できる可能性の高い団員を確保するという意味で、災害活動に特化した機能別消防団員を起用するように各分団に働きかけを行っていききたい。
- ・ 昔使っていたトランシーバーを再利用したほうが良いのではないかと考える。デジタル無線のみだと、近隣の地域の無線が交錯して混乱を招く事態も想定されるので、トランシーバーなども併用して使用するほうが便利ではないか。
- ・ 女性分団の組織については年功序列的な考え方があり、所属年数は長いですが、数えるほどし



か参加していない方が部長や班長などの役職についている状況である。実際に活動している方を中心に組織を運営していきたいと考えている。

- ・ 女性消防団は、これまで啓発活動を中心に行ってきたが、コロナ禍の影響により対面での活動に制約があるので、大変もどかしさを感じている。
- ・ 以前は小学校で防災訓練や避難訓練などが開かれていた。災害なども多くなってきている中で、地域の消防団が学校を訪問して子どもたちと防災訓練等ができれば良いと思う。
- ・ 昔の消防団は訓練の後のコミュニケーションをとる機会があり、そこで消防団の規律や心構えなどを話し合っていた。最近の団員は、比較的用事の少ない日曜日の朝に訓練を行い、その後は家族のために時間を使うという流れになってきている。
- ・ 団員不足は栃木市に限らず全国的な課題である。現状は身近な人に頼み込んでギリギリ確保できているという状況である。昔は消防団に入ることが当たり前という考え方だったが、現在は違っており、消防防災に対する意識の低下が感じられる。
- ・ 福利厚生の部分について、ある程度の金額はいただいているが、足りていると言えば足りているし、少ないと思えば少ないという状況である。世間からの厳しい目もある。
- ・ 新たに入ってくる団員は普通免許しか持たない方も出てくると思われ、対応の必要性は感じている。大型免許を取得していただくための何らかの手段や、普通免許でも運転できる車両の更新について要望していきたい。
- ・ サラリーマン団員の場合、仕事の途中で抜けることをとて言い出せる雰囲気ではない。多くの出勤団員を確保するためには、企業に対して消防団活動の理解を深めていただくことを行政にお願いできればと考えている。
- ・ 機能別消防団員は日中の火災の際などに大変効果があるので、消防団のOBの方を対象に勧誘を行い、携わっていただいている。とても頼りになる存在であるため、今後も積極的に勧誘し、活動していただきたいと考えている。
- ・ 空き家や空き地が結構多い。火災や防犯上において良い環境ではないので、そのようなことも対処していただけるとありがたい。

民生常任委員会

相手方：子ども食堂運営団体等関係者

テーマ：子ども食堂の現状と課題について

- ・ 食材に関して、野菜類は提供していただける機会が多いが、肉類、容器類は自前で用意しなければならない。価格が高騰していることもあり、募金や助成金を活用しているが、費用的な問題が生じている。
- ・ 子どもの参加者が多いほど、調理や見守りのスタッフの人数が必要になり、ボランティアで確保するのが課題である。
- ・ 子ども食堂の運営に市の施設を利用しており、



利用料を減免してもらえらることから非常に助かっている。しかし、現在は特定の場所で、限られた日数での活動が主であり、理想としてはどの地域にも子ども食堂があって、どここの地域の子どもたちも好きな時に行けるのが理想である。

- ・ 団体としては、行政から支援の必要な家庭の情報がもらえるわけではないので、参加者それぞれの家庭状況が分からず、本当に支援を必要としている家庭に支援が届いているのかが分からない。行政が支援を必要としている家庭の情報を団体に提供するの難しいと思うので、支援が必要な家庭に、子ども食堂の活動を伝えるといったアプローチをしていただきたい。
- ・ 行政が中心となって、団体同士、団体と行政が連携をし、情報交換が行えるネットワークの仕組みを作ってほしい。
- ・ 子ども食堂の運営に、フードロスを活用しながら取り組んでいきたい。

産業教育常任委員会

千塚小学校現地視察会（ALT の授業）

＜議員の所感＞

- ・ 授業内容について、さまざまな工夫を凝らし、児童に飽きさせずに興味を持たせる取組が行われていたことが印象に残った。担任教師と ALT の意思疎通や手作りの教材などしっかりとした準備が行われており、同じ授業を担当一人で実施しようとしたら相当な負担になるように思える。一番重要な授業の理解度が下がるリスクと教員の働き方改革を踏まえると、ALT を増員すべきと思う。
- ・ ALT の方の正しい発音を初期から身に付けていくことは、これからさらに積み上げていく英語（外国語）のために非常に有効である。しかし、ALT、もしくは先生単独の授業で、クラス全員の外国語への興味を継続させるのは難しいと感じた。やはりチームミーティングの重要性を再認識した。
- ・ 9月の産業教育常任委員会における「今後のALT活用はA Iとの兼ね合いを考えながら採用人数を検討していきたい」という答弁が無用であると感じざるを得ない。A Iが不要ということではなく、ALTを十二分に配置しながら、更にA Iを活用するのが絶対に児童の外国語の習熟に有効であると感じる。
- ・ グローバルな視野と活躍の場を提供することが本市の将来性を担保することを考え、人材の育成こそが教育の根本であると本市の執行部が考えるならば、重要施策と位置付けるべきである。
- ・ 先生、ALTのスキルや人柄も目的の達成に影響しているのではないかと強く感じたが、現状ではALTの人数の問題、先生の専門性取得などの課題もあると感じている。
- ・ グローバルな人材を輩出するためにも、ネイティブな英語に触れる機会を増やすことは重



要である。また、日本人の先生とA L Tの先生の2人で、会話や掛け合いを見せられることも大きな利点であると感じた。

- ・タブレット端末や映像で見る会話とは全く違うものであり、A L Tを増やすことはグローバル教育には非常に重要なことである。現場でも増やしてほしいとの意見もあった。
- ・多くの市町でA L T採用に関しては人材派遣会社に依頼していると聞いたが、本市の対応については優秀な人材を獲得できていると実感した。また、A L T配置人数については、現場の不足感もあり、増員の必要性も感じた。
- ・A L Tは短期よりも、長期的に学校に留まり、その地域に溶け込むことも必要であると感じた。

建設常任委員会

相手方：栃木市公認管工事業協同組合組合員

テーマ：管工事業関連事業における現状と課題について

- ・ 経営者及び従業員の高齢化が問題となっている。労働条件が厳しいこともあり、若手の従業員が少なく、現場で作業を行う従業員の確保が難しくなっている。
- ・ 組合に加盟している会社の従業員が毎年減少している。事業を継承する後継者がいない組合員もいるため、今後組合員数が減少する可能性がある。
- ・ 住民に悪質業者等とのトラブルを回避する意識が強くあり、工事の理解を得づらい。それによって作業効率が悪化し、作業単価だけでは赤字になることもある。
- ・ 現在市役所での閲覧しか認められていない電子版給配水管図を管工事組合においても閲覧可能にしていきたい。
- ・ 大きな災害に備えるためには現在上下水道局がある菌部浄水場拠点だけでは、十分なスペースが確保できないのではないか。配水管や修理の材料、機材、給水タンク車等を十分に備えられる敷地がさらに必要なのではないか。
- ・ 災害応援等に対応する災害対応班を編成し、行政と組合が一体となって体制を整え、シミュレーションを行うなどしてはどうか。
- ・ 組合員が各地域にいるため、簡便な維持管理等の委託を行い、災害時等においても、各地域の組合員がすぐに該当施設に行けるような体制の構築をお願いしたい。
- ・ 現在、北部地域の産業団地の開発が進んでいるが、今後は南側（旧50号沿いや藤岡）の整備が必要になってくるのではないかとと思われる。その際に藤岡や岩舟では水が不足しているため、工場等は進出しにくい。今後どのように開発を行っていくのか。
- ・ 行政だけでは災害対応が難しく、民間だけでは連絡が取りづらいことなどが挙げられるため、官民一体で現場に行かないと実質的な災害対応は難しい。



- ・ 年度ごとに市の担当部局と話し合いを行い、単価表を決めているが、円安や原油高を受けて様々なコストが急増しており、材料についてはかなり厳しいところがある。ガードマン等を雇うなど場合によっては、単価以上に費用が掛かることもある。
- ・ 漏水修理等で各家庭を訪問する際には管工事組合であることが分かるようにベストと腕章を着用しているが、勝手に入ってきたなどの苦情が市に入る場合がある。請け負った人が丁寧に説明しなければならず、作業にかかる費用に対して手間が合わなくなっている。行政に周知の努力はしていただきたいが、広範囲のため周知が難しいのではないか。
- ・ 漏水が多いと担当部局の職員も駆り出されるため、職員が少ないと感じることがある。職員数が徐々に減ってきており、市はどのように考えているのかと常々思っている。
- ・ 漏水当番の際の待機料等の額が少額であり、近くの現場に行きながら漏水の対応を行わなければ従業員の給料が払えない。
- ・ 漏水については、漏水箇所だけを直すのではなく、一気に管の交換を行う予算を付けていただくなど根本から考えていただきたい。

4. 高校生との意見交換会における意見等

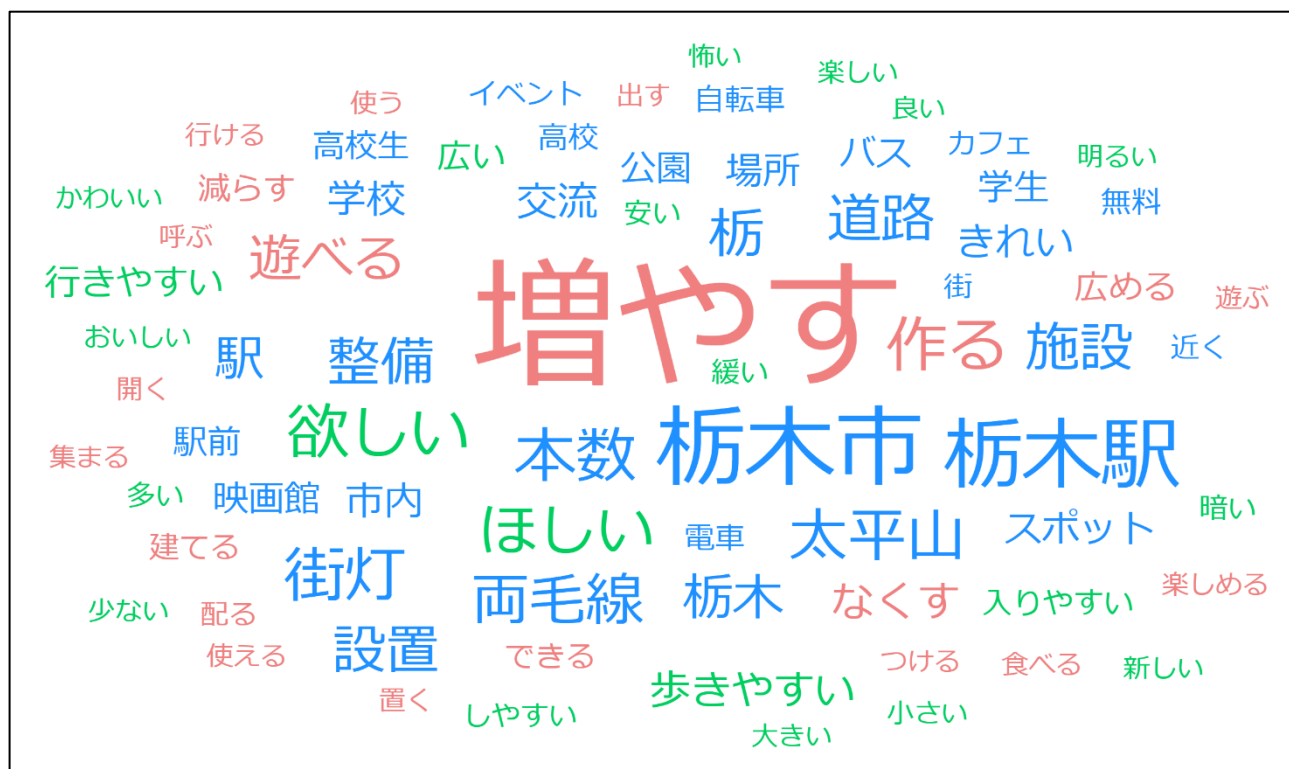
■総括

今回は「もし私が栃木市議会議員になったら」をテーマに意見交換会を行った。高校生からは身近なことである学生生活に関連した意見が多くみられた。

学校に関する意見としては、老朽化した施設・設備の改修や充実を求める意見のほか、校則を時代に合ったものに見直してほしいといった意見や学校間の交流を求める意見が多くみられた。また、通学に関して、街灯の増設や道路の修繕などの安全・安心な環境を求める意見のほか、両毛線等の本数増加やふれあいバスの無料化などの公共交通の利便性向上を求める意見も多くみられた。

学校に関する意見に並んで多かったのが、遊ぶ場所についての意見である。両毛線の本数が少なく待ち時間があるため、特に駅周辺の活性化を求める意見が多くみられた。具体的には商業施設やコンビニ、カフェ、映画館等の娯楽施設、自習する場所の設置を求める意見が多くみられた。また、駅周辺に限らず、学生にとって魅力的なイベントの実施を求める意見も多くみられた。

■高校生の意見におけるキーワードの傾向



※ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

青…名詞、赤…動詞、緑…形容詞



<1班>

◎商業施設 30P

○施設の整備 25P

- ・コンビニを各地に増やす
- ・大きな公園の設置
- ・大きいショッピングセンターの設置
(イオンモールなど)
- ・大型ショッピングモールを作る
- ・カラオケ屋が欲しい
- ・商業施設をもっと作る

OSNS 5P

- ・栃木市の魅力をSNSで発信する
- ・フォトスポットを作る

◎道路環境 25P

- ・道路の鏡の設置
- ・交差点を分かりやすくしたい
- ・街灯を増やす
- ・道路脇の雑草が道路にはみ出さないようにする
- ・道をきれいにする
- ・道路がでこぼこしているので直してみたい
- ・横断歩道の一時停止を減らす



◎駅周辺の活性化 20P

- ・栃木駅南口の人気を増やす
- ・駅の周りをもっと活性化させる
- ・駅の周りを賑やかにする
- ・電車の便を増やす
- ・電車の本数を増やす

◎社会広報 10P

- ・17：00の防災無線の反響音をなくしたい

- ・野焼きの日を決める
- ・農耕地のポイ捨て防止

◎交流 7P

- ・車のルールを守る人を増やすために勉強会を開く

- ・学生同士の交流会が欲しい
- ・地域イベントを増やす

◎ペット環境 5P

- ・犬猫の殺処分や栃木市が行っている対策についてのホームページ作成

- ・犬猫ボランティア団体への支援

◎環境省エネ 3P

- ・ソーラーパネルを作る（省エネ）



<2班> HAPPY SCHOOL LIFE!

◎活性化 40P

○駅周辺の施設 25P

- ・駅の近くにお店が欲しい（ファストフード店、ファミリーレストラン）

- ・栃木駅の南側を北側と同じように人通りが多くなるようにしたい

- ・ 栃木駅をもっと活発にしたい！
- ・ 栃木駅南口をもっと賑やかにしてほしい！
- ・ 夜の駅付近が暗くて怖いので、街灯をもっと増やしてほしい

○地域活性 15P

- ・ 栃木市ならではの観光スポットが欲しい
- ・ 栃木市から有名人を出したい！！
- ・ 蔵の街の雰囲気、外観のすばらしさをもっといろんな人に伝えたい！
- ・ 観光スポットを作りたい！

- ・ 栃木駅南口側にもう少しお店が欲しい
- ・ 栃木駅南口が北口に比べてお店の数などが少ないと感じる
⇒いろいろなお店を作りたい！

- ・ 田んぼアートとか田舎をもっと売り出したい！
- ・ 栃木市の道などにいろんな花が欲しい
- ・ 目指せ！！人気都道府県ランキング上位入り

◎学校 35P

○設備 15P

- ・ 学校の設備をきれいにしたい

○娯楽 10P

- ・ 学校帰りに限らず、遊ぶ場所が欲しい！！
- ・ 栃木翔南高校付近にコンビニやカフェが欲しい
- ・ 飲食店を沢山作って、学生が放課後を楽しみたい！
- ・ 高校生が行きやすい場所、行きたくなるような場所が欲しい
- ・ 遊べる場所、施設を作ってほしい
- ・ 学生に人気のスポットを増やしたい（インスタ映えなど）
- ・ 学生が安く楽しく遊べるような場所が欲しい

○教員 10P

- ・ 保育士になるための方法より就職先を増やしてほしい
- ・ 幼保の先生の募集人数を増やしてほしい



- ・ 放課後に学生が勉強するところを増やしてほしい
- ・ おいしい食べ物がいっぱい食べれるようにいろいろなお店が欲しい

- ・ 学校教員の働く時間と賃金について考えてほしい

◎イベント 10P

○交流・学校

- ・知らない人同士でも交流できるイベントとかがあるといい
- ・栃木市の学生で交流する場が欲しい

・いろいろな学校の人と交流を持ってみたい楽しそう！

○市関係

- ・楽しいイベントがあると栃木市が活発になりそう
- ・市を挙げてもっとイベントをおこしてほしい！

・栃木市ご当地アイドルを作ってイベントをしたら楽しそう！

◎インフラ 10P

○交通手段

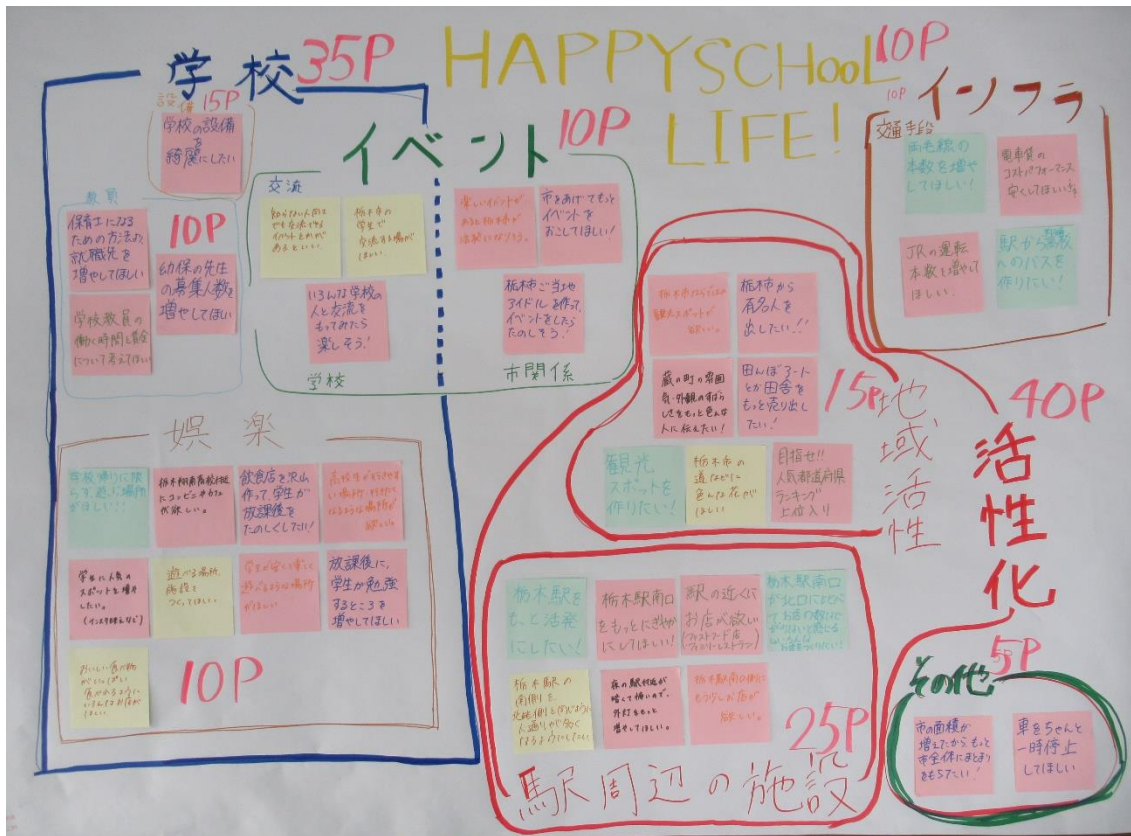
- ・両毛線の本数を増やしてほしい！
- ・電車賃のコストパフォーマンスを安くしてほしい

・JRの運転本数を増やしてほしい
・駅から翔南高校へのバスを作りたい！

◎その他 5P

- ・市の面積が増えたからもっと市全体にまとまりを持ちたい！

・車にちゃんと一時停止してほしい



<3班>

◎とんで栃木 50P

- ・栃木駅南口にマックが欲しい
- ・全体的にお店を増やしてほしい
- ・駅南口にスタバが欲しい
- ・駅の南口を盛り上げてほしい！！
(店・人・交通手段)
- ・近くに遊べる所が欲しい
- ・近くに大型書店
- ・みんなで気軽に遊べる場所が欲しい
- ・絵を貼れる広場が欲しい
- ・アーティストの方がライブできる会場を作りたい
- ・友達等と遊べる場所が欲しい

◎学校改革 20P

○設備改革 15P

- ・校庭に遊具を置いてほしい
- ・学校内に売店が欲しい
- ・県立高校にも食堂とコンビニが欲しい！！
- ・昼休みに毎日おやつを配ってほしい
- ・お昼寝の時間の導入

○授業改革 5P

- ・授業中の飲食を許可してほしい
- ・授業中のおやつOKにしてほしい
- ・実験を増やしてほしい
- ・倫理の授業をしてほしい
- ・解剖実験をしたい
- ・学校の時間を短くしてほしい
- ・学校の実験費用を増やしてほしい
- ・授業時間を減らしてほしい

○校則改革 OP

- ・行事の時に許可なしで異装できるようにしてほしい
- ・学校内でのスマホの使用規則をゆるくしてほしい
- ・学校内での服装自由
- ・学校にメイクOKにしてほしい
- ・行事の時のスマホの使用を許可してほしい
- ・校則をなくす or 減らしてほしい
- ・ジャージで登校したい
- ・バイトしたい

○校長先生に期待してます OP

- ・学校から駅の距離をなくしてほしい
- ・テスト成績上位にごほうび
- ・学校でネコの飼育をする



◎交通 20P

- ・電車の本数を増やしてほしい
- ・電車の本数が増えてほしい

- ・学校から駅までのバスを出してほしい
- ・電車の本数を増やしてほしい

- ・公共交通機関を充実させる
- ・両毛線の16時、17時台を増やす

◎くらし 10P

- ・大学を増やしてほしい
- ・検定等のお金の補助
- ・地域ネコを増やしたい
- ・畑を燃やすのは夜のみにしてほしい

- ・駅前でタバコを吸わないようにしてほしい
- ・ウーバーイーツを栃木にも導入してほしい

◎いちご OP

- ・手軽にいちごが食べたい！！



<4班> CYCLE CITY TOCHIGI

◎traffic 50P

○30P

- ・駅がもっとほしい
- ・栃木駅内のベンチを増やしてください

- ・交通の便を良くする
- ・電車の本数増

○20P

- ・道路整備
- ・道路の整備

- ・道路分りにくいので直してほしい
- ・歩道に生えている雑草

- ・街灯増やしてください
- ・通学路に街灯を増やしてほしい
- ・大平下駅に近い歩道が危ない

- ・歩道のないところに歩道を整備してほしい

◎amusement 35P

- ・もっと遊ぶ場所が欲しい
- ・遊べる施設（ゲームセンターなど）
- ・映画館の建設
- ・遊園地が欲しい
- ・蔵のまちをもっとすごい観光地に！
- ・ショッピングモールください
- ・特産品を使った工芸品や食品作りの体験がしたい



◎school 10P

- ・高校生の医療費を無料に
- ・会社に託児所を作る
- ・西水代の近くに勉強できる施設が欲しい

- ・学校の設備をもっと良くしてほしい
- ・絵の専門学校が欲しいです
- ・学校の先生への負担を減らしてほしい

◎another 5P

- ・巴波川水質改善

- ・野良猫の保護

◎event 0P

- ・太平山でイベント（自然）
- ・高校生同士の交流を増やす
- ・高校生（学生）主体のイベントを作る

- ・ボランティア活動をもっとしやすく！
- ・議員さんと学生でイベントを企画

◎vote 0P

- ・学校（高校）に模擬選挙をする機会を与えてほしい

- ・ネットで選挙ができるようにしたい

group 4

traffic

50P

20p

道路整備
道路向の切込み
の道はほしい。

道路の切込み
の道はほしい。

歩道の広さ
をほしい。

信号機
の設置をほしい。

信号機
の設置をほしい。

信号機
の設置をほしい。

信号機
の設置をほしい。

30P

駅
のそば
にほしい。

駅
のそば
にほしい。

駅
のそば
にほしい。

駅
のそば
にほしい。

school 10P

高校生の居場所
を確保したい。

高校生の居場所
を確保したい。

高校生の居場所
を確保したい。

高校生の居場所
を確保したい。

高校生の居場所
を確保したい。

Amusement 35P

まち
遊び場
をほしい。

まち
遊び場
をほしい。

まち
遊び場
をほしい。

まち
遊び場
をほしい。

まち
遊び場
をほしい。

CYCLE CITY TOCHIGI

event 0P

大平山で
イベント(自然)

大平山で
イベント(自然)

大平山で
イベント(自然)

大平山で
イベント(自然)

vote 0P

ネット
選挙
をほしい。

ネット
選挙
をほしい。

ネット
選挙
をほしい。

another 5P

町
の
保護

町
の
保護

町
の
保護

栃木高等学校



<1班>若い世代を応援し、未来の発展を期待する町づくり

◎教育 35P

○設備 20P

- ・自習できる環境を増やす
- ・小中高校の改修工事
- ・栃木市に大学を設置したい
- ・学校の校舎を改築する（伝統を残して）
- ・教育施設、学校に費用をかける

○制度 15P

- ・学生が行動、将来について考える制度を作る
- ・各高校に学食を作る
- ・高校の間での交流を増やしたい

- ・学校のICT環境を整える
- ・小さい子が遊べる環境を増やしたい
- ・栃高、栃女の中の偏差値の共学校を建てる
- ・栃木駅の施設を増やす

- ・高校や大学に進学する生徒への支援
- ・部活動と地域のクラブ活動の連携
- ・関東大会や全国大会に出場した子どもへの支援

◎支援 35P

- ・住民税を0.01%にしてほしい
- ・育児に関する給付金を増やす
- ・企業したい若者への支援
- ・出産した女性にお金を配る

- ・福祉、医療系の団体、企業の支援を厚くする
- ・引っ越してきた家族への支援

◎町づくり 25P

○施設 15P

- ・モールを作る
- ・通学中営業していない空き店が散見されるので、どんどん新装して学生の助けになるような店を作ってほしい
- ・東武宇都宮線と東武日光線の本数を増やして欲しい
- ・スポーツ施設を増やす
- ・ディズニーランドを作ってほしい
- ・巴波川をきれいにする
- ・大きい商業施設が欲しい
- ・駅を中心に栃木市を発展させたい
- ・とりせんの他にもイオンなどの大型ショッピングモールを増やしたい
- ・駅近の土地の金額をもっと安くして、都市圏からの人の流入を目指し、人口を増やしたい
- ・娯楽施設を増やす
- ・遊べる施設を増やしたい
- ・子ども達の拠り所となる場所を作る
- ・デートできる所を作りたい！！

○交通 5P

- ・道路整備
- ・バスや電車などの交通機関を増やす
- ・オーバスのものが欲しい
- ・駅、バス停を増やして、栃木市の中心に行きやすくしたい
- ・両毛線の本数を増やす
- ・駅からのバスに「栃高行き」を追加してほしい
- ・道の暗いところに街灯を
- ・両毛線の本数を増やす
- ・町の行事やイベントを増やし交流を増やす
- ・通学路のでこぼこをなくす
- ・水はけの良い道路を作る

○町おこし 5P

- ・町全体で行うイベントを増やす
- ・栃木市の魅力の一つである山車をもっと見たい
- ・栃木市を舞台にしたアニメやゲームを作ってもらおう
- ・芸能人などを招待して祭りなどに参加してもらおう
- ・大平町の特色であるぶどうをもっと推したい
- ・栃木の有名なもの（しょうが?）をアピール

◎その他 5P

- ・議員と市民が交流する場を設ける
- ・勉強やスポーツボランティア活動



- ・宇都宮のように路面電車みたいなものを作りたい
- ・栃木駅前の信号を長くする



<2班>未来投資 ～栃高ファースト～

◎教育 40P

○栃高改革 30P

- ・栃木高校の校舎を良くしたい
- ・栃高の校舎を新しくする

- ・栃木高校の校舎をリニューアル！！
- ・共学化

○教育環境整備 10P

- ・教員の労働時間
- ・図書館の自習室の座席を増やす
- ・ランドセル支給

- ・教育機材デジタル化（特に小中学校）
- ・キョクトウ（市民交流センター）の自習室の座席を増やしてほしい

◎交通 30P

○道路整備 20P

- ・自転車専用レーンの普及
- ・ブルーラインの設置

- ・サイクルツーリズム
- ・道路の改善

○公共交通機関の改善 10P

- ・ふれあいバスの終電を遅くまであるようにしてほしい
- ・ふれあいバスの運行本数増加

- ・学校直通バスの設置
- ・交通機関を増やしたい

- 交通マナーの向上 0P
 - ・自転車、車互いにマナー

◎環境と景観 30P

○景観保全 10P

- ・空き家問題解決
- ・街の景観を守る
- ・緑を増やす

○福祉環境 10P

- ・高齢者のための環境整備

○PR活動の活性化 5P

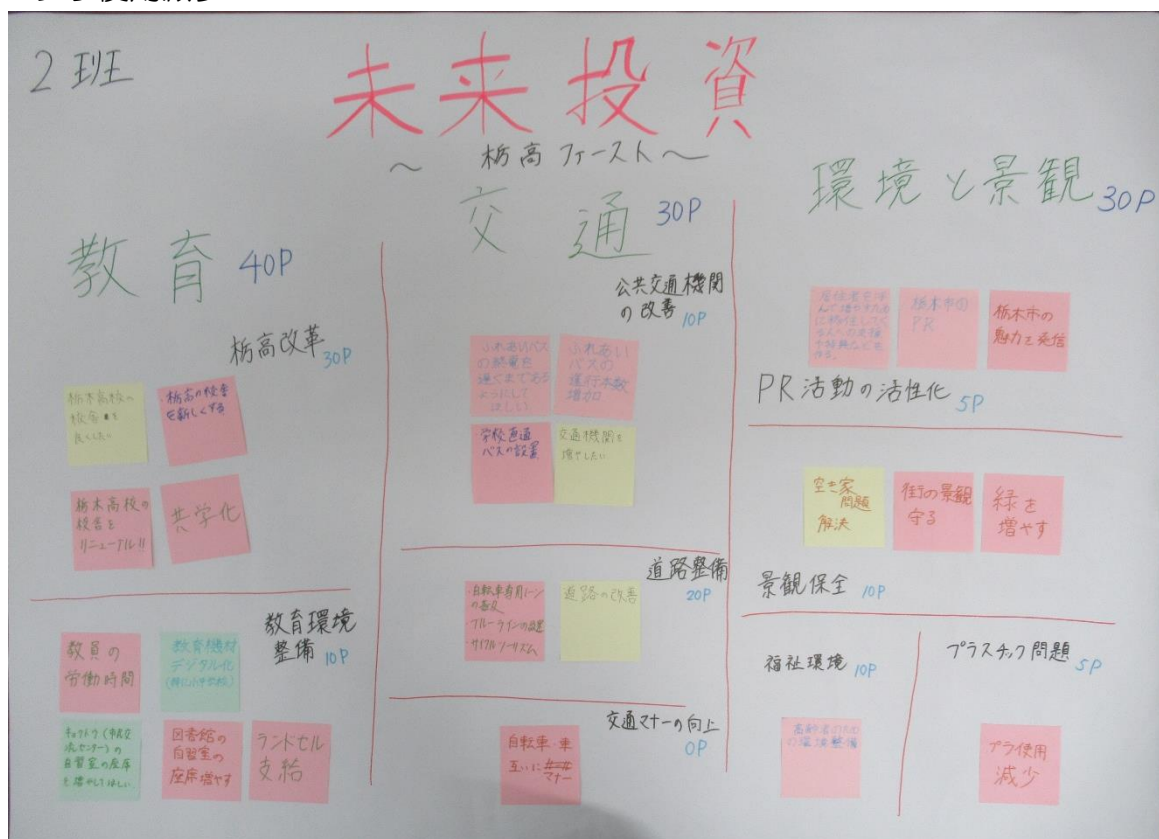
- ・居住者を呼んで増やすために移住してくる人への支援や特典などを作る

○プラスチック問題 5P

- ・プラ使用減少



- ・栃木市のPR
- ・栃木市の魅力を発信



<3班>独身ゼロ計画

◎愛の終着駅 30P

- ・採算の取れないバス路線の廃止
- ・路線バスの開通（学校行き）
- ・電車、バスの本数を増やす
- ・道路の整備（耐久レースの場所）
- ・電車の本数（特に東武日光線）の本数を増やしたい

- ・電車の本数（両毛線）を増やす
- ・自転車の町にする（レンタルチャリ）利益増

- ・高齢者が使える無料パスポート
- ・道路の舗装をして、道のでこぼこをなくして、歩きやすくしたい

◎いずくんぞデートせんや 30P

- ・3万人プールを作る
- ・高校生のための合コンの場を作る
- ・将来（3年間）のためのデートスポットを作る
- ・大きい商業施設を作る

- ・映画館、アミューズメントパークの誘致
- ・デパートを作る
- ・高齢者と若者の交流を作る
- ・映画館を栃高の近くにほしい

◎男子校からの開放！ 20P

- ・栃木高校の外装、内装をよりきれいにしたい
- ・キョクトウの利用者層の認知（栃木市外の人でも使える？）
- ・栃木市内の高校の交流を増やしたい（國栃ではあるっぽい）
- ・学校の近く or 学校内にコンビニが欲しい
- ・栃木高校の共学化
- ・栃木高校への予算を増やす（電気代分）
- ・自習できる場所を増やす
- ・学校でのスマホ使用を許可できるようにしたい



- ・市営バスの便を増やす
- ・栃木高校近くにコンビニがあると
- ・学校（中高）の自習室土日開放
- ・図書館の規模の拡大

◎持続可能な生活に向けての政策 15P

- ・栃木市の祭りの開催費用をクラウドファンディングで集める⇒観光資源化
- ・不透明な随意契約の見直し
- ・栃木市の公民館を統廃合する
- ・選挙の投票率（無効票を除く）を上げたい、無効票を減らしたい

- ・選挙のデジタル化
- ・住民税の減税
- ・外郭団体を減少させる
- ・栃木市を国家戦略特区に指定させる
- ・選挙権を持たない子どもたち（18歳未満）の選挙への関心を高めたい

◎エンタメトチギ 5P

- ・アニメ、漫画による聖地化⇒観光客増加

- ・商店街の活性化（スタバ通りに比べて少し閑散）

・栃木市で祭りを作る

◎SDGs 18 ノーカノジョノーライフ!

・ノーカノジョノーライフ



栃木商業高等学校



<1班>ワクワク！ドキドキ！市民に寄りそう栃木市！！

◎医療費 30P

- ・医療費をタダ
- ・医療費 高校生まで無償化

◎施設 20P

- ・駅前に商業施設を作る
- ・駅の中にファストフード店を入れる
- ・栃木駅の近くにカラオケを作る
- ・プリクラ機（駅前でも）どこかに！
- ・駅にプリ機設置！
- ・ちいかわランドを作してほしい（お店）
- ・ガチャガチャのお店を作してほしい
- ・室内の遊び場（小さい子が遊べる所）を作る
- ・小さい子どもが楽しく遊ぶことができる場所（ボールプールなど）
- ・ヒーローショーをしてほしい（プリキュア、仮面ライダーなど）
- ・人が集まれる広場
- ・勉強ができるスペース（施設）
- ・大きなショッピングモールを作る
- ・学生が楽しめる駅ビルみたいなものを作る
- ・映画館を作る
- ・VR施設が欲しいです
- ・スケボーができる公園
- ・デパ地下を作る
- ・遊園地
- ・みつわ通りに高校生が集まるようなレストランなどを作る
- ・かわいいマンホールを置く
- ・ドックラン等ペットと一緒に楽しめる施設を増やす

◎イベントづくり 10P

- ・大きなクリスマスツリーを置く
- ・大きな公園を作る
- ・花火大会（大規模）
- ・イルミネーション

- ・巴波川にイベントごとに飾り付けをする（クリスマスやハロウィンなど）
- ・住宅地付近の公園の整備、充実化
- ・バザーを開く

- ・老人ホームや保育園などふれあいイベント（ボランティア）
- ・栃木市内でクリスマスなど冬の祭りを開く

◎住・環境整備 10P

- ・横断歩道を増やす
- ・暗い道（夜道）の街灯を増やす
- ・人通りの多き県道とかの歩道の整備
- ・道を舗装
- ・歩行者用と自転車用とで道を分ける、横断歩道に自転車のラインをつけているもの増やす
- ・太平山のあじさい坂の道を整備し歩きやすくする
- ・交通量が多いのでそれを改善させるために道路を広くする
- ・道ぞいに花だんを置く（花いっぱい）
- ・農道を整備

◎交通 10P

- ・シャトルバス無料化
- ・ふれあいバス高校生以下無料！！
- ・路面電車！！

◎有名人 5P

- ・とち介に声を
- ・とち介の声優（野沢雅子）
- ・ホールに有名な人を呼んでコンサート（声優さん希望）※愛美さんと大西亞玖璃さん



◎議会 5P

- ・一日市議会体験会をやる（子ども向け）

◎エネルギー 5P

- ・ダムやソーラーパネルを多数設置して、県内での電気料金を安くするよう発電システムを増やす

◎食べ物 5P

- ・山で出没する野獣とかの肉を商品化させる（ジビエの普及）
- ・野菜系の直販所を市街地に設置する
- ・農業用の土地として過疎化地域の土地を安く売り出す



<2班>住む人に優しい町づくり

◎街の安全 25P

- ・街灯が欲しい
- ・防犯灯をつける
- ・夜道をもっと明るくしてほしい
- ・街をきれいにする
- ・通学路の整備

◎レジャー 25P

- ・プリクラ機が欲しい
- ・大平に寿司屋が欲しい(チェーン店)
- ・映えスポットを作してほしい
- ・ラーメン屋が欲しい
- ・洋服屋が少ない
- ・揚げ物のお店が欲しい
- ・雑貨店が欲しい
- ・いちごをいっぱい食べたい
- ・遊び場が欲しい
- ・食べ放題を増やしてほしい
- ・映画館が欲しい

◎駅周辺 20P

- ・駅を大きくしたい
- ・電車を増やす(本数)
- ・駐輪場の無料
- ・駅内に人が集まるブースが欲しい
- ・駐車場の無料
- ・JR高い
- ・バスを無料に
- ・駅の近くに遊べる場所が欲しい
- ・自転車の補助
- ・スクールバスを出してほしい

- ・ 栃木駅内に学生が入れる飲食店が欲しい

- ・ 栃木駅近くに暇つぶしスポット

◎運動・スポーツ 1OP

- ・ テニスコートの代金を安くしてほしい
- ・ 広場を作る
- ・ 運動できるスペースが欲しい

- ・ 大平の運動公園にも壁打ちができるところが欲しい

◎学校 1OP

- ・ 海外の人と交流
- ・ 修学旅行を海外に
- ・ 髪の毛染めたい
- ・ 卒業式に有名アーティストを呼ぶ
- ・ 行きたい部活があるところに部活だけ参加したい
- ・ 校則の統一
- ・ 服装自由にしてほしい
- ・ 部活の数を増やしてほしい
- ・ 高校生の食事代無料



◎観光 5P

- ・ 田んぼアートをする
- ・ イベントを作ってほしい
- ・ 新しいマスコットキャラクター

- ・ お祭りの活性化
- ・ SNS 等で栃木市の観光地やお店をあげる

◎その他 5P

- ・ 休日が欲しい

- ・ 高校生の医療費を無料にする



<3班>夢を叶えてドラえもん系～栃木市を四次元ポケットに～

◎人を呼び込む系 7OP

○遊び場系 5OP

- ・人が集まれる大きな場所が欲しい
(ライブやスポーツができる)
- ・駅の近くに商業施設を作りたい
- ・栃木駅周辺に遊ぶ場所が欲しい

- ・大きな商業施設の建設
- ・大きなショッピングモールを作る
- ・栃木駅にファストフード店を作る
- ・映画館が欲しい

○PR系

- ・写真を撮りたくなるようなカフェ
- ・インスタ映えスポットをたくさん作る
- ・とち介に声が欲しい

- ・良い所(蔵の街)などの広告、宣伝
(SNS等を使って)

○いこいの場系 1OP

- ・渡良瀬遊水地の方をもっと発展させたい

- ・家族で行ける大きな公園を作る

◎学生のおなやみ系 1OP

○通学路系 1OP

- ・通学路の草が多く邪魔になっている
- ・栃木工業前の道路の交通整備
- ・太平山の参道を歩きやすくする

- ・栃木市は夜暗くて怖いので街灯を増やしたい

○学生の声系 OP

- ・イベントの時や学校行事スマホOK!
- ・メイクOK!
- ・学生無料バス

- ・怒鳴る先生が怖いので怒鳴るの禁止!!!!
- ・校則を緩くする

◎経済的な事系 1 OP

- ・受験がかぶる家族へのお金の補助
- ・月に一度金券を配る
- ・学生無料バス

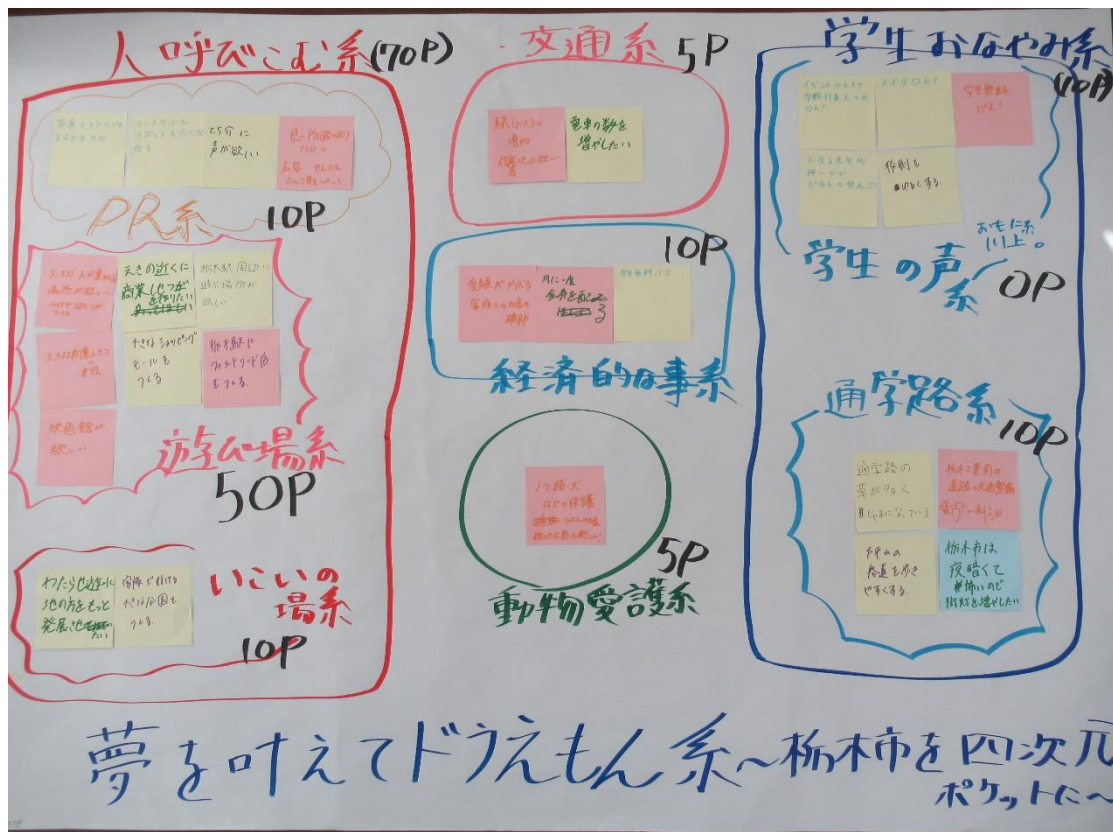
◎交通系 5P

- ・駅(バス)の増加(住居地に欲しい)
- ・電車の数を増やしたい



◎動物愛護系 5P

- ・ノラ猫、犬などの保護(避妊のお金) 緑地公園北側とか!



栃木女子高等学校



<1班>学生が過ごしやすい文化的な街

◎環境 30P

○通学 15P

- ・夜道を明るくしたい
- ・街灯を多くする
- ・東武線の駅ホームにも自販機を充実させたい
- ・通学路の整備

- ・ファミリーマート前の道路をきれいにする
- ・道路を広くしたい
- ・歩道を広くする

○自然 15P

- ・巴波川をきれいにする
- ・浸水しないようにする

- ・緑の多い町にしたい

◎交通 30P

○電車 20P

- ・電車の本数増加
- ・電車の本数を増やす

- ・新幹線が欲しい

○バス 10P

- ・市内循環バスのバリエーションを増やす

- ・バスの本数を増やしたい

◎娯楽 20P

○ご飯 10P

- ・たくさんご飯屋さんが駅前にほしい

- ・花やお菓子など小さなお店にも頼む

- ・たくさんあるカフェをもっとまわりやすいようにする

○女子 10P

- ・イオンにもっといろいろなお店を入れる
- ・かわいい洋服をもっと売ってほしい
- ・映えるところがもっと欲しい

- ・栃木駅前にデパートを！

- ・プリクラが欲しい
- ・暇つぶしができる場所が欲しい
- ・レジャー施設が欲しい

◎地域・文化 10P

○地域 5P

- ・子ども同士がボランティアなどを通して交流できる場所が欲しい
- ・渡良瀬遊水地を観光地に！
- ・いろいろな人との交流の機会を

○文化 5P

- ・舞台芸術の盛んなまちに
- ・バレエ団を誘致する
- ・大きな劇場を作る



◎教育 10P

○学校 8P

- ・自習できる施設の設定
- ・学校をきれいにしたい

- ・国立大新設（医療系の学部）
- ・暖房設備の導入（エアコン）

○その他 2P

- ・地方にも目を向ける（統合したところなど）



<2班>住みやすさランキング1位の市を目指して!

◎住みやすさ 60P

○学生のため 30P

- ・お祭りの運営に学生が参加できる
- ・バイトしたい
- ・学生などが参加できるイベントが欲しい
- ・学校の施設をきれいにしたい
- ・学生の通学路をきれいに整備する

○市外の人のため 20P

- ・他の市からも人が来るように交通手段（バスなど）を増やす

○働く人のため 10P

- ・会社の環境を良くできるように推進!

- ・通学路に街灯をつけてほしい
- ・歩道を広くしてほしい
- ・学生が利用しやすい料金の食事処
- ・勉強ができるカフェのようなところをつくる（飲みものが安いとか）

- ・家を建てやすく

- ・育休を男女関係なく取りやすくする

◎魅力 35P

○観光 20P

- ・テーマパークを作る
- ・観光で有名な場所を作りたい

- ・駅の周りに商業施設がもっと欲しい
- ・有名なおいしい郷土料理

- ・Z世代（若者）に寄り添ったまちづくり（SNS映えするスポットとか…）

○施設 10P

- ・大きいステージを作る
- ・年齢問わず誰でも遊びに来れる施設を作る（大人が子供に囲碁を教えたり…）

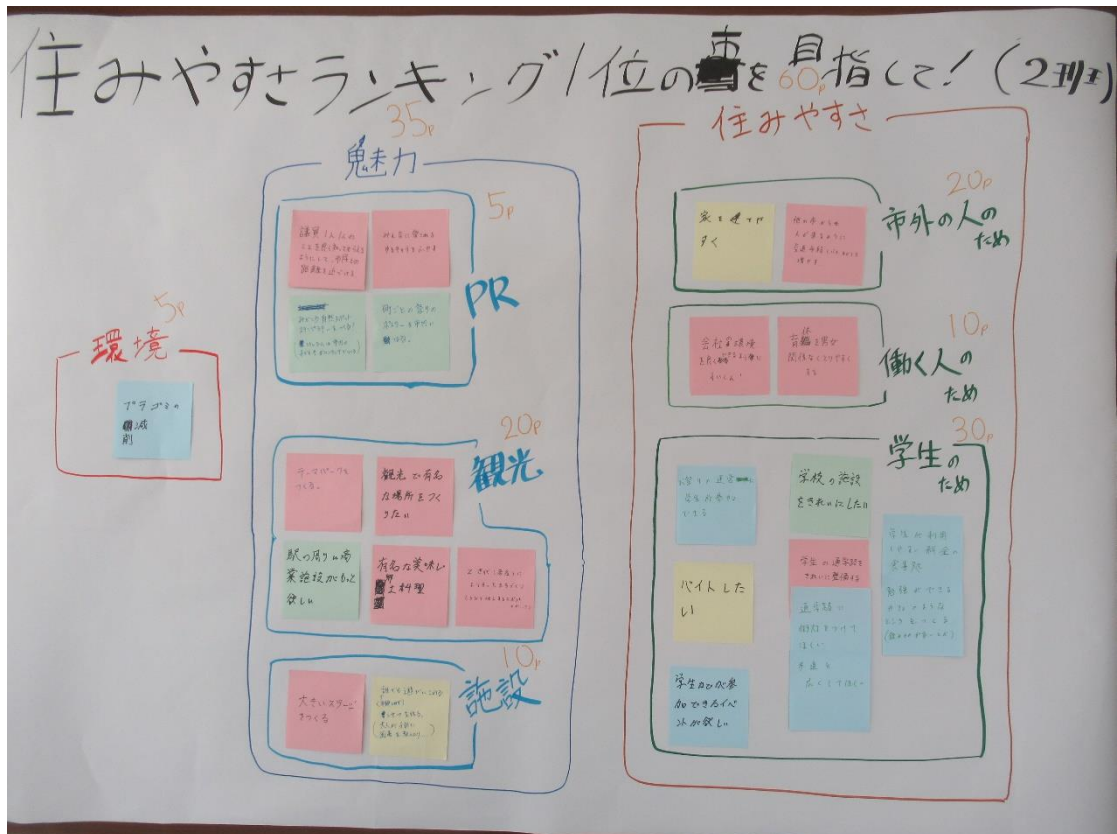
○PR 5P

- ・議員1人ひとりのことを良く知ってもらえるようにして、市民との距離を近づける
- ・みんなに愛されるゆるキャラを増やす
- ・見どころ自然スポットスタンプラリーを作る！（景品は市内の子どもやボランティアで作る）
- ・町ごとの祭りのポスターを市内に貼る



◎環境 5P

- ・プラゴミの削減



<3班>生涯教育の町づくり 栃木に愛を

◎改革 50P

- ・校内の環境を学校ごとに差を感じないように
- ・教科書を電子化
- ・「注目」という言葉を導入

- ・文理を分けない教育
- ・一定期間別学を共学化
- ・大学入試制度を変える
- ・電子化につれて休み時間を増やしてほしい（目が悪くなる）
- ・トイレをどの学校でもきれいに
- ・校則をもう少し緩く

○格差をなくす

- ・留学制度を整える
- ・給食費無料

- ・公立学校にスタディサプリの導入
- ・心の教育をもっと広める
- ・国際教育
- ・進学校でも社会経験としてアルバイトを
- ・高校生のプロジェクト社会実験
- ・自習スポット

- ・経済格差で子供の夢を壊さない社会

◎生涯教育 20P

- ・看護学の公立の大学を作る
- ・夜間中学を作る
- ・育児中ママのスキルアップ
- ・年齢に関わらず学べる仕組み
- ・仕事しながらスキルアップできる環境を作る



◎地域 15P

- ・栃女通りに街灯を増やす
- ・駅前に図書館
- ・電車の本数を増やす

- ・環境配慮
- ・デイサービスとの交流を作る

◎娯楽 15P

- ・高校生用のデートスポットを設けて欲しい
- ・キンプリを呼んでイベント
- ・観光業をもっと広める
- ・プリクラの撮れる場所を作る
- ・映画館を作る

- ・デートスポットを増やす
- ・ボランティアできる機会が欲しい
- ・障がい者スポーツ振興
- ・無料デートコンサルティングが受けられる



栃木工業高等学校



<1班>住みたくなる街づくり

◎施設 30P

○娯楽 20P

- ・食べ歩きができるようなお店を増やす
- ・栃木市に映画館を作る
- ・公園にアスレチック増やす
- ・室内の施設を増やす
- ・駅前に映えるカフェ
- ・サウナ施設を作る

- ・洋服を買う場所を増やす
- ・公園を増やし、スケートボードやクライミングをできる場所を作る
- ・緑地公園に遊べる無料の施設を作る
- ・遊園地を作る
- ・栃木市内にCAMPエリアを開設する

○生活 10P

- ・様式のトイレを増やす
- ・市を合併

- ・コンビニを増やす
- ・学習スペースを作る

◎交通 30P

○道路整備 15P

- ・見通しの良い道路
- ・道路の一方通行を少なくする
- ・街灯が少なく危険なので街灯を増やす
- ・街灯を増やして欲しい！

- ・一方通行の場所が多いので減らす
- ・道路の道が狭いので道を広くする
- ・信号を増やす
- ・道路を広くきれいにする

○電車 13P

- ・両毛線の本数を増やす
- ・栃木駅に新幹線を通す

- ・駅を増やす
- ・JR線を増やす

○バス 2P

- ・栃木駅⇔学校のふれあいバスを増やす

◎イベント 30P

○企画 15P

- ・ 栃木の高校に来てもらえるように栃木の高校生でイベント開催
- ・ コスプレ若者のイベント
- ・ 栃木市の食を広めるためのグルメフェスを開催

○イベント施設 15P

- ・ 栃木市にもLEDライトアップスポットインスタ映え
- ・ アーティストが来てもらえるようなステージを作る
- ・ 栃木市の市民の美術作品や工芸品を展示する場所を作る
- ・ 冬はイルミネーションの場所を増やす

◎福祉 5P

- ・ SNSで栃木市関連の投稿をしてくれた人にサービスをする！
- ・ スポーツ競技場の利用料金を安く
- ・ 川の汚染を止めるためゴミを拾う団体を作る

◎学校 3P

- ・ 学校をきれいにしてほしい
- ・ ブラック校則をなくす
- ・ 通学バスを出す

◎災害 2P

- ・ 災害の時のために公衆電話を増やす

◎企業 0P

- ・ もっと映画などの撮影地としてテレビを呼び

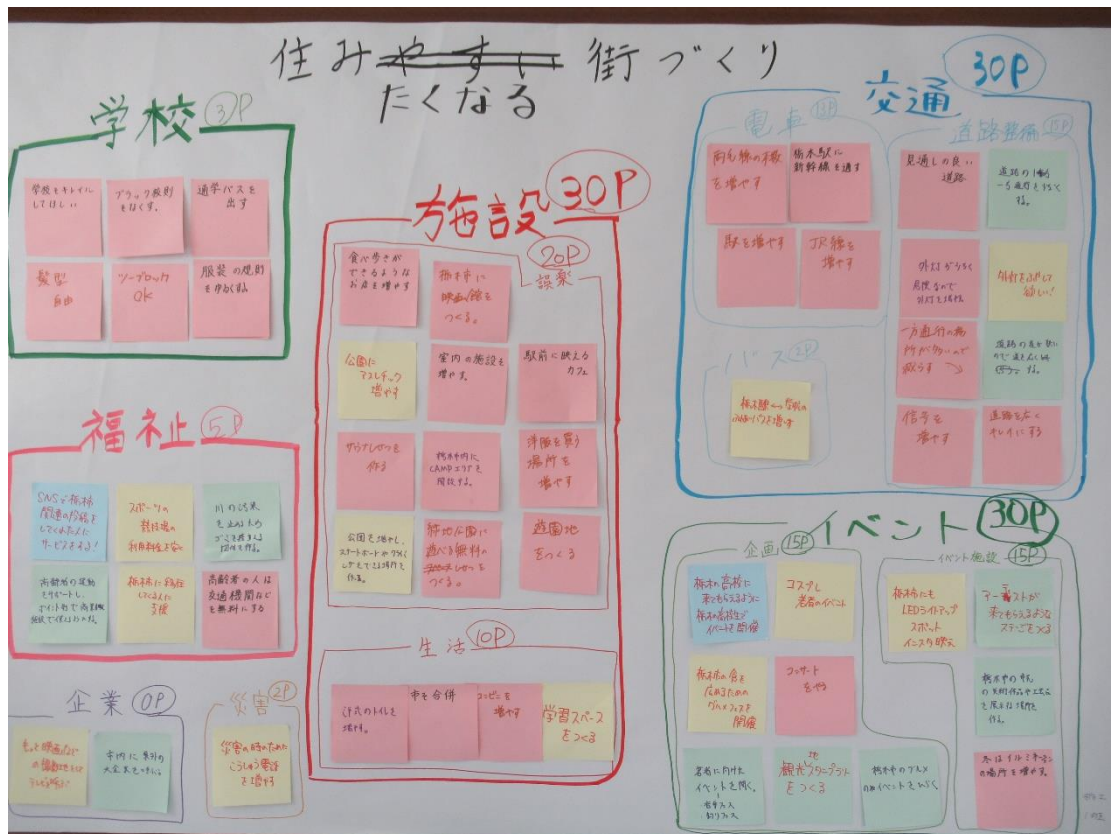
- ・ コンサートをやる
- ・ 若者に向けたイベントを聞く（音楽フェス、釣りフェス）
- ・ 観光地スタンプラリーを作る
- ・ 栃木市のグルメイベントを開く



- ・ 高齢者の運動をサポートし、ポイント制で商業施設で使えるようにする
- ・ 栃木市に移住してくる人に支援
- ・ 高齢者の人は交通機関などを無料にする

- ・ 髪型自由
- ・ ツーブロック OK
- ・ 服装の規則を緩くする

- ・ 市内に県外の大企業を呼び



<2班>人が集まる栃木市

◎お店・施設 55P

○大規模施設 30P

- ・栃木市にお菓子横丁のようなものを作る
- ・古着屋通りを作りたい
- ・道の駅を作る

○スポーツ 15P

- ・最近若者でスケボーがはやってるのでスケボーができる施設を作る
- ・学生でも行けるスポーツジムを作る

○いやし施設 10P

- ・サウナ店を建てたい
- ・映画館、ゲームセンターが欲しい

- ・駅の近くに人が集まれるようなものを作る
- ・アウトレットを作りたい
- ・栃木駅南側にお店を増やしたい

- ・気軽に借りれる体育館や運動施設を増やす

- ・ネコカフェを作る

◎環境 29P

○道路環境 15P

- ・街灯を増やす (田舎道など特に)
- ・駅前に自転車駐輪場を設置する (定期利用と一般利用に分けて)

- ・住宅地で死角が多いので、ミラーを増やす
- ・五差路の交差点に信号機を創設

- ・自転車や歩行者が通行しやすいように歩道を舗装する

○交通機関 10P

- ・貸出自転車を駅前に
- ・電車の本数を増やしたい
- ・バスを深夜まで運行

○子育て施設 4P

- ・子育て施設を増やす

◎イベント 15P

- ・ゴミ拾いのボランティア企画
- ・太平山で自転車レースを開催したい
- ・冬にイルミネーションを作る
- ・市内のラーメン店だけでラーメンコンテストを開催する

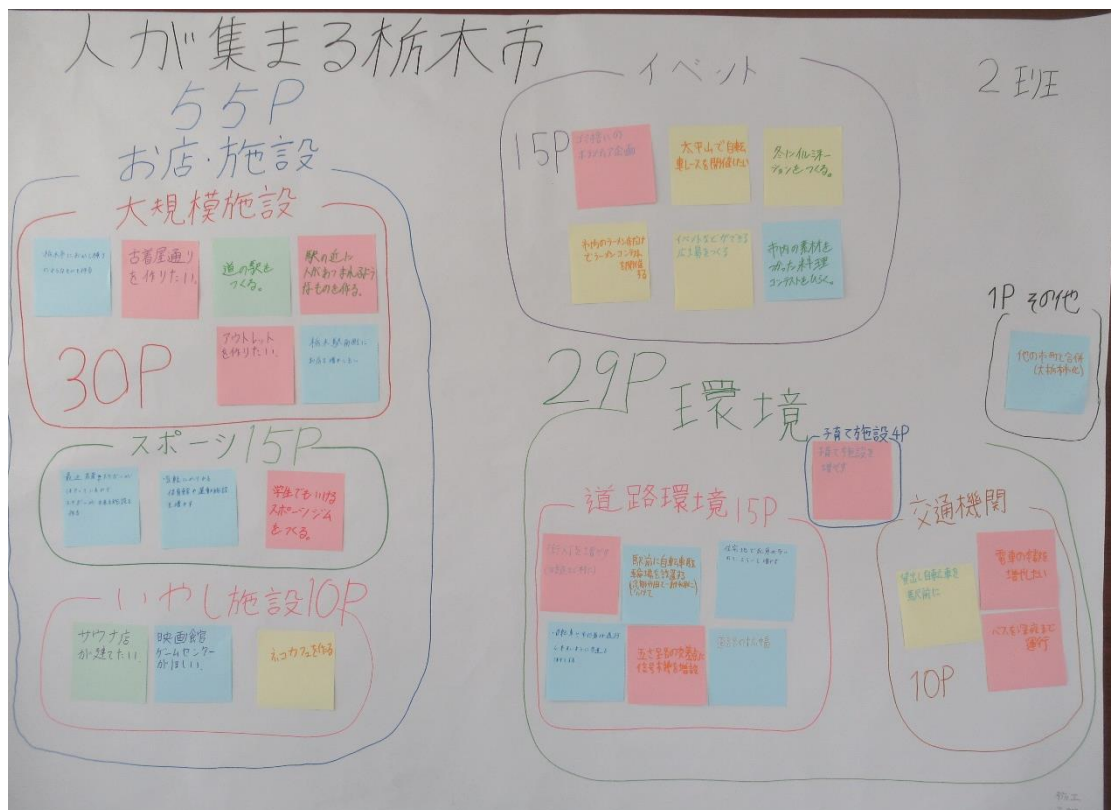
- ・道路の拡幅



- ・イベントなどができる広場などを作る
- ・市内の素材を使った料理コンテストを開く

◎その他 1P

- ・他の市町村と合併（大栃木市化）



<3班>ベビーがスター☆

◎子育て 8OP

- ・子育てしやすくする制度を作る
(例：生まれたらお金を配る数を増やす)

- ・子育てを経験したことある人と子育て未経験の人が情報交換できる機会を半年に1回ぐらい

◎施設 1OP

○新規

- ・猫カフェを作る
- ・映画館が欲しい
- ・メイド喫茶
- ・大型のデパートを作る
- ・栃木市にもアニメイトを！

- ・ディズニーストアが欲しい
- ・駅近くに栃木市のお土産が買えるお店
- ・栃木駅をより豊かに（ファミリーレストランなど）

○増設

- ・ミツワ通りをさらに観光名所にしたい
- ・駅の中のお店を誰でも入りやすいお店に
- ・デートスポットを増やす
- ・ゲームセンターを増やす



◎交通 1OP

○公共交通機関

- ・両毛線の本数を増やしてほしい！
- ・（栃工への）バスの本数を増やす

○道路交通

- ・信号機を増やす！！
- ・道の街灯がもう少し欲しい

- ・自転車道を作る
- ・レンタル自転車の数をより多く

◎学校 OP

○要望

- ・1～3年生の中で音楽の時間増！
- ・3時間目を休み時間に（自由時間）
- ・「アニメ」を授業に取り入れる

- ・休んでも単位が出る有単（有給の学生 ver）が欲しい

○資金

- ・もう一つ体育館を作るためにお金を！

- ・学生にお金を配る

◎イベント OP

- ・募金などを行い、資金を少しでも多く...
- ・他の市、県から人々を引き寄せるようなイベントをやりたい!

・若者が輝けるイベントを増やしてほしい!

◎その他 OP

- ・自販機の種類↑

・映画の上映する作品を増やしてほしい



栃木農業高等学校



<1班>人が集まる楽しい栃木市

◎施設 50P

○観光・娯楽 30P

- ・全員が休める、息抜きできるスペースを作る（仕事後や学校後にフラッと寄れるような…）
- ・いろんな人が、心が癒される場所を作る
- ・インスタ映えスポットが欲しい！
- ・自然をもっと楽しめるようなイベントや施設を増やす
- ・インスタ映えスポットを作って、若い人に来てほしい
- ・学生が行きやすいお手頃価格なカフェなどを作りたい
- ・映画館が欲しい
- ・学校帰りに遊べるところが欲しい
- ・スポーツ施設を増やす
- ・子どもから大人まで楽しめるような商業施設を作る
- ・栃木の秋まつりを他の市の人にも知ってほしい
- ・宿泊施設を増やす
- ・駅の周りをもっと賑やかに
- ・観光地が欲しい
- ・潰れた店舗の跡地を別の施設などで利用してほしい
- ・娯楽施設が欲しい
- ・洋服屋さんを増やしたい
- ・ショッピングモールを作る
- ・ゲームセンターで、時間で入れない人がいるからそれをなくす
- ・遊び場が欲しい

○公共施設 20P

- ・公園を増やす（遊具の多い）
- ・バスケットゴールがある公園が欲しい
- ・隠れた名店を紹介してほしい
- ・栃木市の食材や特徴を生かしたお店を作る（蔵の街の景観に合った）
- ・大きくて広いカフェ
- ・みんなの冷蔵庫が欲しい
- ・文房具を変える場所が欲しい
- ・スタバをもう少し作りたい
- ・気軽に寄れるカフェが欲しい
- ・電車の時間まで待てる場所が欲しい

◎交通関係 20P

○交通 10P

- ・蔵の街に駐車場を増やしてほしい
- ・電車の本数をたくさん増やす

- ・栃木駅から蔵の街までの交通手段

○道路 10P

- ・道の整備をする
- ・道をきれいにしてほしい

- ・白線の幅を広くしてほしい
- ・街灯を増やしたい

◎学校関係 20P

- ・市内の学校の良さをもっと知らせる
- ・バリアフリーを導入して不便さをなくす
- ・学校同士の交流を増やしたい
- ・学校をきれいにしてほしい
- ・栃農の農場をきれいにしたい
- ・学校の机と椅子をきれいにしてほしい



◎職業関係 5P

- ・職業手当の充実

◎教育関係 5P

- ・勉強する施設を作る



<2班>めざせ！住みたい町ランキングNo1！

◎交通 35P

- ・電車の走る量を増やしてほしい
- ・人が歩く所と自転車が走る場所を別にしてほしい
- ・保育園や小学校の前に信号機付きの横断歩道を作る
- ・標識を目立たせる
- ・止まれなどの白線を濃くする
- ・道路にゴミ箱を設置する
- ・車が歩行者に道をゆずってくれるようにしたい
- ・栃農までのバスが欲しい
- ・電車の時間を30分に1本にする
- ・道路を滑らかにしてほしい（でこぼこをなくす）
- ・道路を平らにしてほしい
- ・道のでこぼこを直してほしい
- ・白線の幅を広くしたい
- ・歩道の拡張
- ・自転車の通る道を広くする
- ・道路を広くする
- ・交通整備
- ・曲がり角にカーブミラーがたくさん欲しい
- ・カーブミラーを増やしてほしい
- ・カーブミラーが欲しい
- ・街灯の増量（田んぼ道）
- ・街灯を増やす
- ・街灯を増やす

◎施設・遊び場 30P

○施設

- ・オシャレなカフェが欲しい
- ・スイパラができる場所
- ・スタバが欲しい
- ・スイーツ店が多くなってほしい
- ・韓国料理店を増やしたい
- ・飲食店が欲しい
- ・おしゃれなカフェを増やす
- ・栃木市に映画館が欲しい！
- ・カラオケ店を増やす
- ・古着屋さんをもっと多くする
- ・ハーヴェストウォークみたいな所が欲しい
- ・イオンモールがあると良い
- ・スケート場を設置
- ・ボウリング場を増やす

○遊び場

- ・フォトスポットを増やす
- ・メルヘンな所が欲しい



- ・プールが欲しい
- ・ゲーセンが欲しい
- ・温泉が欲しい
- ・旅館が欲しい
- ・アニメイトを多くしてほしい
- ・アニメイトが欲しい
- ・K-POPのグッズ販売店
- ・ディズニーが欲しい
- ・近くに遊園地が欲しい

- ・電車に乗らなくても一日遊べる場所
が欲しい
- ・大きな公園をもっと増やしてほしい
- ・かわいい噴水が欲しい
- ・釣りができる場所が欲しい
- ・釣り堀が欲しい

- ・DVDやCDが買える所を増やして
ほしい
- ・本屋が欲しい
- ・本屋が欲しい
- ・バスケットゴールを設置する

◎環境 20P

- ・花を植えて景色をきれいにする
- ・もっといろんな所に花や木を植えて
ほしい
- ・土手の整備（アスファルト&除草）
- ・歩道の除草（道路の草が生えてくる
隙間を埋める）
- ・公園の落ち葉を減らす

- ・冬には木にイルミネーションをつけ
る
- ・太平山を全体的にイルミネーション
（冬限定）
- ・栃木駅にゴミ箱を設置する
- ・駅だけでなく、町中にゴミ箱を置い
てほしい

◎動物 10P

- ・ペットショップを増やす
- ・ペットショップが欲しい（爬虫類）
- ・ペットショップで動物を買うより、
保護動物をお迎えするように呼びか
けたい
- ・酪農牧場の作成
- ・牛、豚と触れあう場所
- ・ドッグランが欲しい
- ・動物園を増やす

- ・動物園が欲しい
- ・動物園が欲しい
- ・パンダが欲しい
- ・エミュー牧場が欲しい
- ・害獣の駆除（イノシシ、シカ、ハク
ビシン）
- ・水族館が欲しい
- ・水族館が欲しい

◎その他 3P

- ・栃木駅がもっと栄えてほしい
- ・放課後気軽に遊べる所が欲しい

- ・駄菓子屋さんの量と質を増やす
- ・空港を設置する

◎学校 2P

- ・学校の耐震工事
- ・学校にエレベーターを設置したい
- ・学校にエスカレーターを設置する

- ・県立高校の資金を増やしてほしい
- ・学校のトイレをきれいにしてほしい



<3班>栃木市盛り上げ隊

◎観光 40P

○広報 20P

- ・太平山を観光名所としてもっと広めたい

- ・観光名所などをもっと広めたい

○料理 10P

- ・郷土料理をもっと好きになってもらいたい

- ・栃農でジビエ料理を販売する

○まつり 10P

- ・祭りなどの行事をもっと大規模でやるようにしたい
- ・秋まつりのゴミ箱設置数を増やす

- ・秋まつりを他の県の人やいろいろな人が知れるようにしたい
- ・新しい山車を作る

◎Leisure 30P

○Place 25P

- ・遊ぶ場所が欲しい(水族館など)
- ・海や大きな川が欲しい
- ・動物を放し飼いにし触れあいたい

- ・栃木市に映画館を作る
- ・ボウリング場を作る
- ・休みの日を増やす

OChance 5P

- ・若者がいろいろな夢を持てるようにしたい
- ・小中高の違う年の人と交流の機会が欲しい
- ・栃木市の高校生同士が関わる機会を多くしたい、または作りたい

- ・栃木市の高校同士の関わりを多くしたい
- ・学校以外で高校生同士で集まる機会が欲しい

◎教育 18P

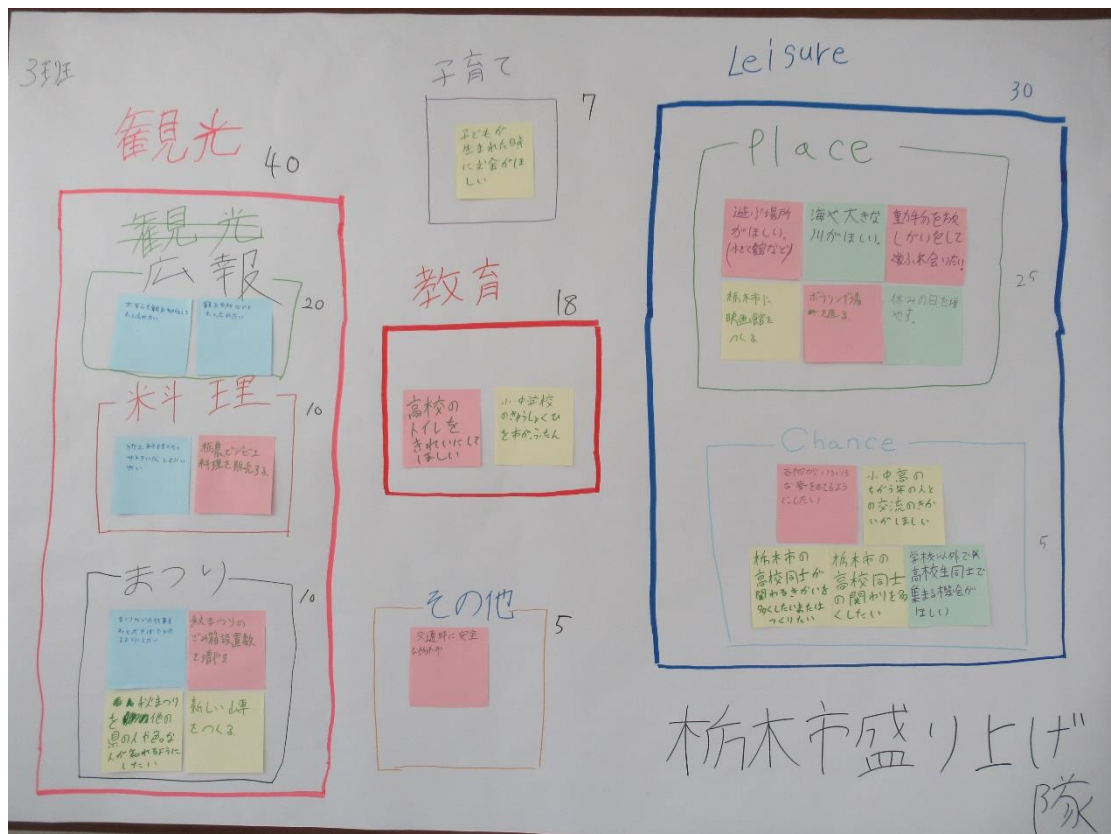
- ・高校のトイレをきれいにしてほしい
- ・小中学校の給食費を市が負担

◎子育て 7P

- ・子どもが生まれた時にお金が欲しい

◎その他 5P

- ・交通時に安全な栃木市



学悠館高等学校



<1班>学生でも家族連れでも楽しめる町

◎レジャー大型施設 25P

- ・ライブ会場を増やしてほしい
- ・栃木市にテーマパークのようなものを!
- ・アミューズメント施設を増やしてほしい
- ・映画館を増やしてほしい

◎飲食関連 17P

- ・飲食店、ファストフード店がもっとあるといい(駅前のマクドナルドなど)
- ・マックなど放課後にみんなでお話しできるような場所が欲しいです
- ・高校生でも入りやすい飲食店が欲しい

◎栃木市内の設備 15P

- ・横断歩道の設置(学悠館付近)
- ・駐輪場を置きたい!
- ・通学路に少しでも街灯を設置したい
- ・公園に時計を設置したい
- ・禁煙スペースを増やしてほしい
- ・町中や道路沿いの街灯を増やしたい
- ・お手洗いを増やしたい
- ・栃木駅内の電気をもう少し明るいライトにして雰囲気をよくしたい
- ・ごみ箱をもっと設置してほしい
- ・ごみステーションを多く設置したい
- ・ごみ分別の標識増設+外国語での案内



◎商業施設 1.5P

- ・ショッピングできるところなど放課後ブラブラできるところが欲しい
- ・ゲームセンターなど遊べるところが欲しい

- ・放課後に遊びに行ける場所を創設したい（例：映画館、ショッピングモール、プリクラ）

◎交通関連 1.5P

- ・バスの本数増加
- ・両毛線の本数をもっと増やしたい
- ・電車の本数を増やしたい

- ・両毛線、東武線ともに電車の本数を増やしたい

◎観光 1.0P

- ・地図の設置を多くしたい（川付近）
- ・市内マップの増設（駅の案内図、外国語の看板）

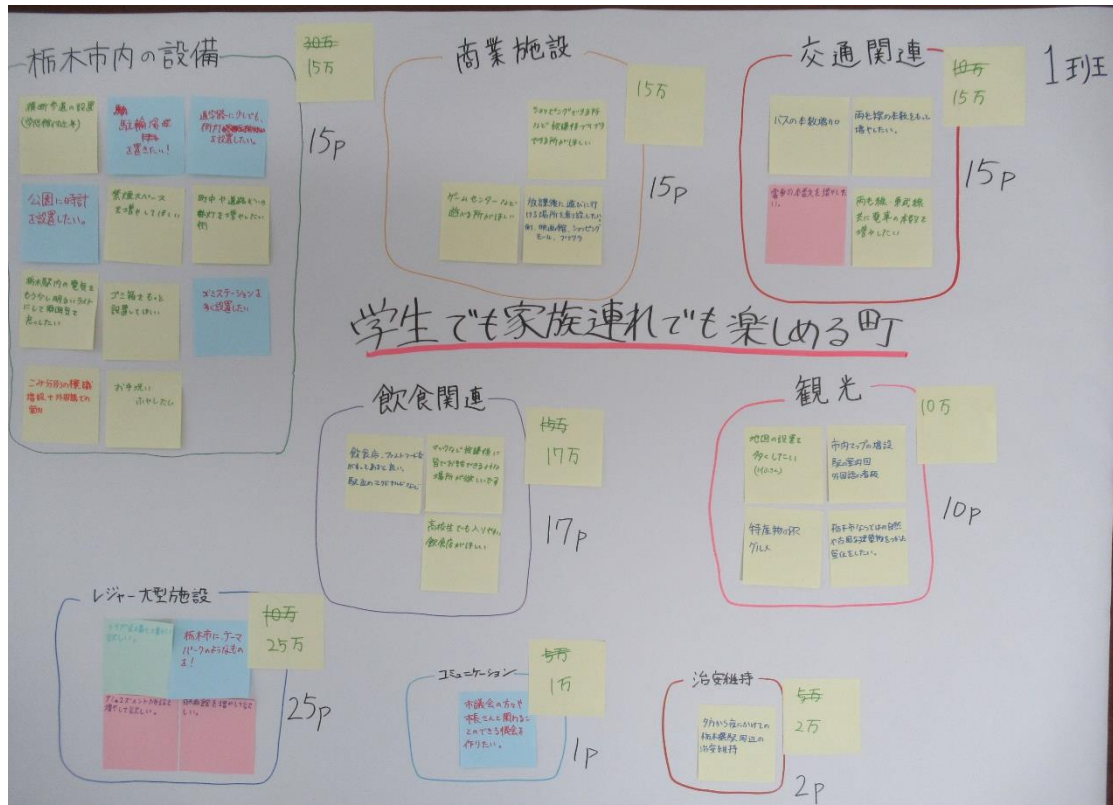
- ・特産物のPR グルメ
- ・栃木市ならではの自然や古風な建築物を使った宣伝をしたい

◎治安維持 2P

- ・夕方から夜にかけての栃木駅周辺の治安維持

◎コミュニケーション 1P

- ・市議会の方々や市長さんと関わることのできる機会を作りたい



<2班>来た人が楽しい街！

◎交通 30P

○公共交通 20P

- ・市バスの拡大
- ・最寄り駅から出ているバスが欲しい
- ・学生が多い時間帯の信号の時間を延ばしてほしい
- ・電車の本数の増加

○道路 10P

- ・街灯を増やしてほしい
- ・道路の舗装をしたい（横断歩道に雨天時に水がたまる場所がある）
- ・駅から少し離れたところにも時計台を設置

- ・電車の本数を増やしたい（両毛線が1時間1本しかないため）
- ・無料の駐輪場
- ・バスの学割

- ・川の近くで虫が多いのでどうにかできないか
- ・暗い道（場所）について街灯を増やしたい（交通安全、防犯上の観点から）

◎駅近 30P

○飲食 21P

- ・高校生に優しい飲食店（カフェなど）を増やしてほしい
- ・駅周辺に飲食店が欲しい
- ・駅前（栃木駅）に飲食店を建てたい（憩いの場が少ないと感じるから）
- ・駅の近くにコンビニをたくさん作る

○雑貨 9P

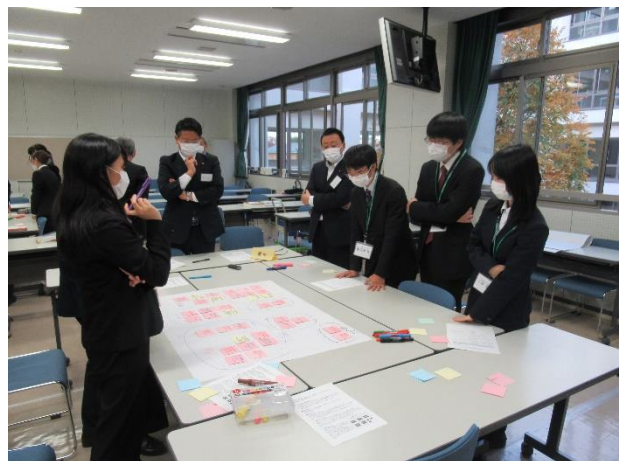
- ・駅周辺に百貨店が欲しい
- ・ジャンプショップが欲しい

- ・市内のごはん屋さんで学割を作る
- ・駅周辺に自習スペースや軽食の食べられる場所
- ・駅に居酒屋しかないのもったいない
- ・スイパラを作る

- ・アニメイト栃木店が欲しい

◎アミューズメント 19P

- ・プラネタリウムが欲しい！
- ・天文台が欲しい！！（星とか月が見られるところ）
- ・展望台（蔵の街が見れる）
- ・ゲーセンが欲しい
- ・充実した書店が欲しい
- ・釣り堀が欲しい
- ・映画館が欲しい！
- ・市内で遊べるところが欲しい



◎公共スペース 1OP

・市の図書館に自習スペースを作る

・大きな図書館の設立

◎市全体 8P

・ごみ箱が欲しい

・公園を増やしてほしい（整備）

・お手洗いを増やしてほしい

◎School 3P

・栃木市内の高校生の交流の場が欲しい

・学校のエレベーター全員使いたい



<3班>人が集まる栃木市

◎栃木市に人を呼びこむ政策 45P

○駅前開発 30P

- ・プリ機が欲しい
- ・ドーナツ屋が欲しい
- ・会話のできる図書館のような施設が欲しい
- ・栃木駅前に自習室を作る
- ・駅前にGUを置く
- ・コストコを栃木市にも

- ・サーティーワンが欲しい
- ・駅周辺に休めるところがもう少しほしい
- ・栃木駅周辺にカラオケ店を誘致する
- ・駅に大きな水槽が欲しい
- ・猫カフェを作る
- ・マックが欲しい

- ・栃木市の名物のお店を駅の近くに作る
- ・駅の近くに本や文房具が買えるお店を作る

○新たな観光地 10P

- ・ライブ会場を作る
- ・天文台が欲しい

○生活向上 5P

- ・ごみ箱が欲しい

- ・駅の近くにローソンが欲しい
- ・駅の近くにコンセントのなる大きなテーブルが欲しい

- ・特産品のPRや活用
- ・観光地の発展

- ・駐輪場を増やす

◎移動アシスト 20P

○交通安全 10P

- ・街灯を増やす
- ・帰り道に街灯がもう少しほしい
- ・川の近くに地図を増やす
- ・自転車専用レーン

○交通ルール 5P

- ・駅周辺の交通ルールを向上させる

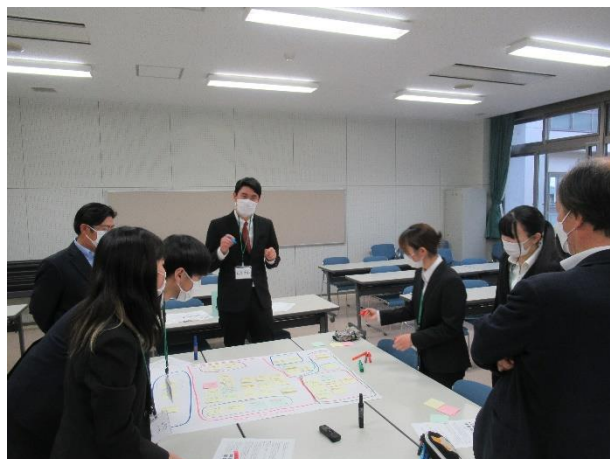
○補助

- ・タクシーを無料にしてほしい

- ・学校までの道に屋根が欲しい
- ・動く歩道を作る
- ・両毛線の本数を増やす

◎ふれあいの場！ 15P

- ・同じ趣味を持った人と出会えるツールが欲しい
- ・周りに住んでいる人とふれあえる大会のような時間が欲しいです



◎モチベ↑↑ 15P

- ・学校に行こう！と思うモチベーションになるものが欲しい（朝お菓子配布など）

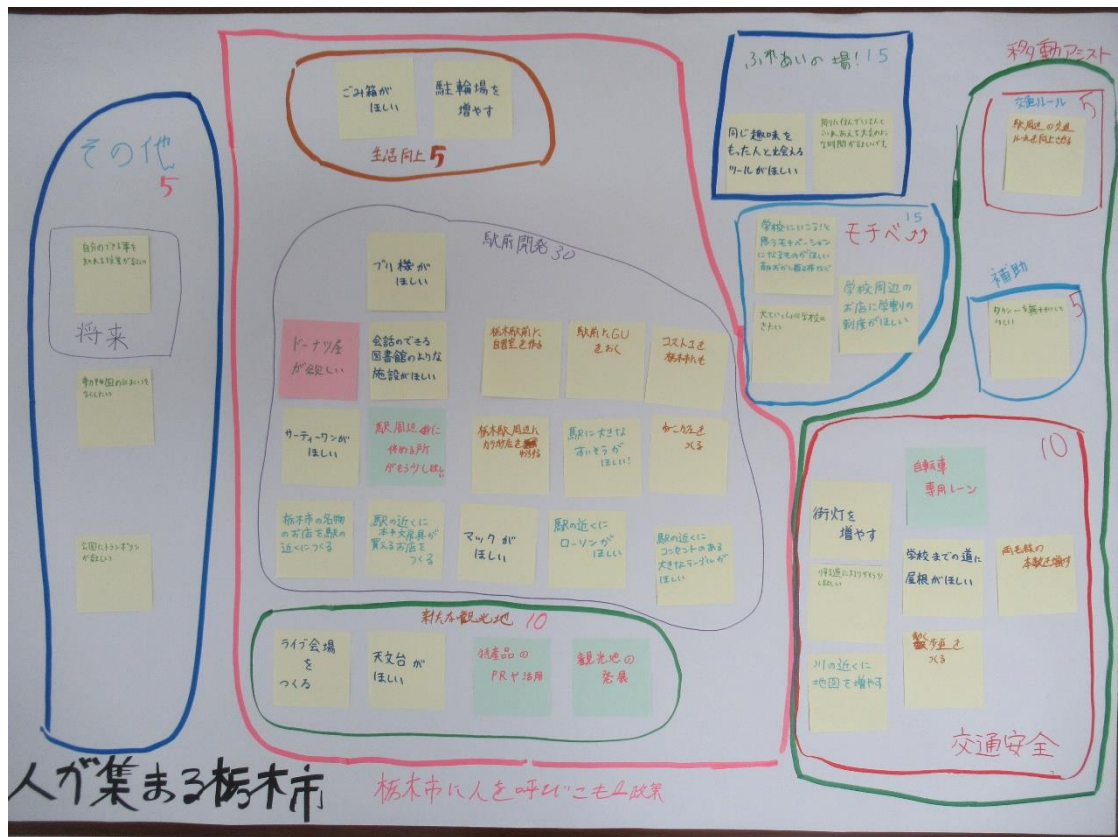
- ・犬と一緒に学校に来たい
- ・学校周辺のお店に学割の制度が欲しい

◎その他 5P

○将来

- ・自分のできることを知れる授業が欲しい

- ・動物園のにおいをなくしたい
- ・公園にトランポリンが欲しい





<1班>活気あふれる栃木市！！～魅力度ランキング1位を目指して～

◎サイトシーイングゾーン 20P

- ・しもつかれをおしゃれにする
- ・星がよく見えるところを宣伝する
- ・観光名所を作る
- ・海が欲しい
- ・鹿せんべいを作る
- ・シンボルとなるものを作る
- ・イルミネーションをつける

◎空港をつくる 20P

- ・空港を作る

◎スチューデントゾーン 16P

- ・学校にエスカレーターをつける
- ・学費免除
- ・学校にエレベーターを作る
- ・登校時間を学校ごとにずらす

◎アクティブゾーン 10P

- ・大きな運動公園を作る
- ・遊ぶところを増やす
- ・スポーツ観戦ができる場所
- ・栃木駅の周りに遊べる施設を作る
- ・遊び場を増やす

◎コンビニエントゾーン 10P

- ・両毛線の本数を増やす
- ・東京まで1本で行ける電車を通す
- ・電車の本数を増やす
- ・ディズニーへの直通
- ・交通面の改善
- ・バスの本数を増やす

◎ファミリーゾーン 8P

- ・値段のリーズナブルな飲食店を増やす

- ・栃木駅内のお店を増やしてほしい
- ・栃木市のお店で使えるお食事券

◎Toセーフゾーン 5P

- ・道路をより整備する
- ・電柱を増やしてほしい

- ・道路の危険なところを安全に

◎子どもの支援 5P

- ・子どもの支援

◎感染症対策 4P

- ・感染症対策

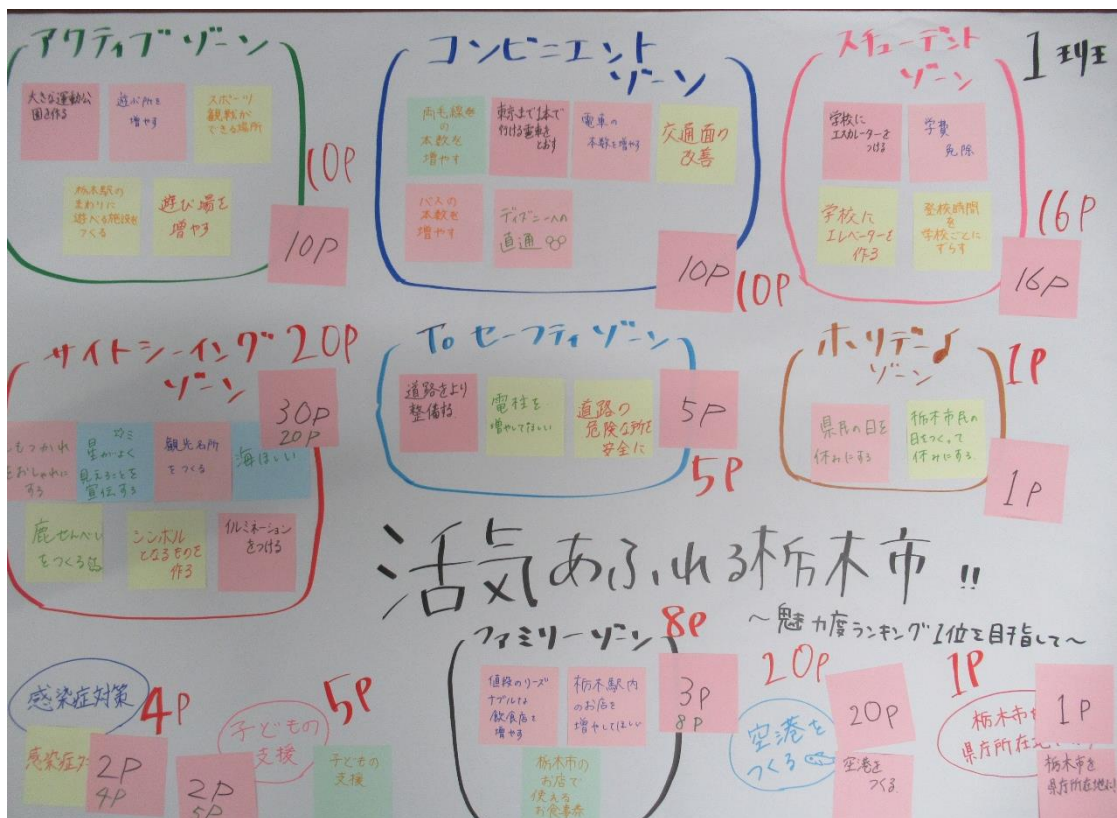
◎ホリデーゾーン 1P

- ・県民の日を休みにする
- ・栃木市民の日を作って休みにする



◎栃木市を県庁所在地に 1P

- ・栃木市を県庁所在地に



<2班>ギャンブルノミクスシティー

◎ギャンブル 50P

- ・パチンコ店の増加
- ・カジノ店も欲しい
- ・競馬場の誘致
- ・JRA の場外馬券場を作る

◎交通 15P

- ・交通の便利化（電車、バス）
- ・交通の便利化
- 道路
- ・マックから國學院までの道路拡張
- ・バスの運行をもっと広範囲に
- 鉄道
- ・両毛線、東武線の本数を増やしてほしい
- ・LRT 導入
- ・地下鉄が欲しい

◎エンタメ 10P

- ・栃木五輪開催！！
- ・Apple 蔵の街
- ・USJ
- ・お笑いのホールを作る
- ・ROUND1 の復活
- ・市内でフェスを開催！
- ・若い人が集まるようなイベント、商業施設が欲しい
- ・大型ショッピングモールの誘致
- ・栃木シティーJリーグ昇格へ！！
- ・スパリゾート建設

◎生活環境アップ 10P

- ・子どもを産むと現金100万円！
- ・最低賃金を上げる（1,000円まで）
- ・栃木市民の日（祝日）を作る
- ・過疎地域でも暮らしやすく

◎教育 6P

- ・私立高校無償化
- ・幼稚園から大学まで教育の無償化
- ・学校にエレベーターが欲しい

◎福祉 6P

- ・雀荘を増やす
- ・介護施設を増やす
- ・もっと私立高校に通っている生徒への給付金
- ・バリアフリーの増加
- ・在宅医療の推進



◎サスティナブル 2P

- ・空き地の有効活用

- ・古民家を整備して移住

◎農業 1P

- ・農業のIoT化を推進

◎人口増 OP

- ・栃木市を政令指定都市に！

- ・人口+85万人



<3班>日本一満足度が高い栃木市！

◎栃木の顔 3OP

- ・電車の本数を増やす
- ・栃木駅周辺に学生向けのお店をopen!
- ・観光地としてアクセスを良くするために新幹線を小山から栃木に変更する

- ・栃木駅のストリートピアノをもっと使ってもらいたい
- ・栃木駅前にパブリックビューイングを作る
- ・駅の周りのお店がたくさんあるとうれしい

◎太平山を富士山より有名に！ 25P

- ・太平山の道路を整備してウォーキングのコースを作る（花や木を植える）

- ・太平山にイルミネーションを作る！
- ・太平山にお店を増やす！

- ・太平山を気軽に来れるようにする！
（バスなどの整備）

- ・太平山神社に行きやすくする

◎「市民に愛されている栃木市」 2OP

- ・散歩できるスペースが欲しい
- ・もっと遊ぶ場所が欲しい！（映画館など）

- ・公園（大きめ）が欲しい！
- ・空き地を有効活用する
- ・遊べる施設を増やす！

◎日本一アクセスの良い栃木市 1OP

- ・いろいろな場所を経由するバスが欲しい

- ・自転車用の道を増やしてほしい！

◎栃木だけ“特別”政策 5P

- ・医療費を安くする
- ・週3日休みにしてほしい！
- ・栃木県民の日を休みにする

◎充実してます栃木市 5P

- ・飲食店（チェーン）を増やしてほしい
- ・栃木市に大きなデパートを建てる



◎魅力度 up!! 5P

- ・ふるさと納税で栃木のおいしい物をたくさん宣伝→販売
- ・しもつかれをおいしくする
- ・ゆるキャラを増やす！
- ・栃木市を有名な観光地へ
- ・家族連れが観光しやすい街にする！

- ・シンボルを作る！
- ・蔵のまちを賑やかにしたい
- ・栃木市の魅力をもっとPRして「栃木市に行きたい！」と思わせる
- ・蔵の街の魅力をYouTubeなどでPRする！

日本一満足度

が高い栃木市!

3班

栃木の顔

電車の本数
と増やせ!

栃木駅
周辺に
学生向けの
お店をopen!

観光地への
アクセスを
良くせよ!

栃木駅の
アクセスを
良くせよ!

栃木駅周辺に
学生向けの
お店を開く

観光地への
アクセスを
良くせよ!

30

栃木だけ
"特別"政策

太平山を
富士山より
有名に!

太平山の道路を
整備してカーブの
カーブを直す
(観光客を誘う)

25

太平山を
気軽に楽しめる
ようにする!
(バスなどの
整備)

343m

太平山に
お土産を
増やせ!

太平山神社
にお土産を
増やせ!

人口を
増やしたい

医療費を
安くする

通学日数を
減らす

栃木県民
の目を魅か
す。

5

充実します栃木

「市民に愛される栃木市」

5

飲食店を
増やしてほしい

栃木市に
人口を増や
す

20

飲食店を
増やしてほしい

公園が
欲しい!

空き地を
有効活用
する

遊べる施設
を増やせ!

日本一アクセスの良い
栃木市

10

自転車用の
道を増やして
ほしい!

魅力度 up!!

5

ふるさと納税
で栃木の
おいしい物を
たくさん宣伝
→販売

観光客を
誘う

栃木市と
有名観光地
へ

家族連れ
が観光し
やすい環境
にする!

栃木市の
魅力を
もっとPRし
「栃木市に
来た」と思わせる

観光客を
誘う

観光客を
誘う

5. 高校生との意見交換会アンケート結果

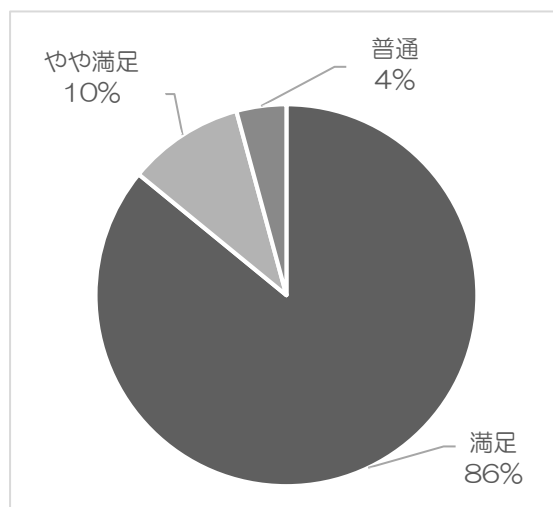
参加者数（人）	124
アンケート提出数（件）	70
回収率（％）	56.5

Q1：意見交換会の満足度を教えてください。

主なご意見

<満足>

- ・ 市議会議員の方々と話す機会は中々ないので、貴重な話を聞くことができ、とても楽しかったからです。
- ・ 栃木市という町の魅力を上げるというテーマに沿って議員さんと楽しく考え、発表することができたから。
- ・ グループで協力して、楽しく話し合いを進めることができた！また、意見を出しやすい良い雰囲気、緊張せずに議員の皆さんに、自分を主張できた！
- ・ なかなか考えることの無い視点から、栃木市について真剣に考えることができたので、とても満足しています。
- ・ 議員さんへの質問や、ブレインストーミングなどで議員さんの色々なお話が聞けて楽しかった。また、議会クイズで議会について楽しく、よく学ぶことができた。
- ・ 話す機会のない議員さんとの会話で、どのような人が、議員をやっているのか知ることができたことや街にある様々な意見を聞いたこと、話し合いのやり方など、多くのことを学べたから。
- ・ 最初は緊張していたのですが、議員のみなさんがフレンドリーに接して下さったおかげで、楽しく意見を出すことができました。
- ・ 栃木市に通学していて普段あまり改善点や要望などを深く考える機会がなかったので、議員の方と一緒に意見を交換する機会はとても有意義でした。
- ・ 市議会議員さんとの意見交換という体験ができて、今後の人生の役に立つだろうと思ったから。



<やや満足>

- ・ 多くの考えを共有することができ、自分以外の人のお考えを聞いたことで視野が広がったため充実した時間だったと思います。ありがとうございました。ただ、もう少し議員さんの意見も聞いてみたかったです。

- ・ 議員の方と実際に会話できる貴重な機会でした。ただ、時間の関係で仕方がありませんが、もっとじっくりとお互いの意見について議論して結論を出したかったです。
- ・ 意見を出すだけだったので、議論したかった。

<普通>

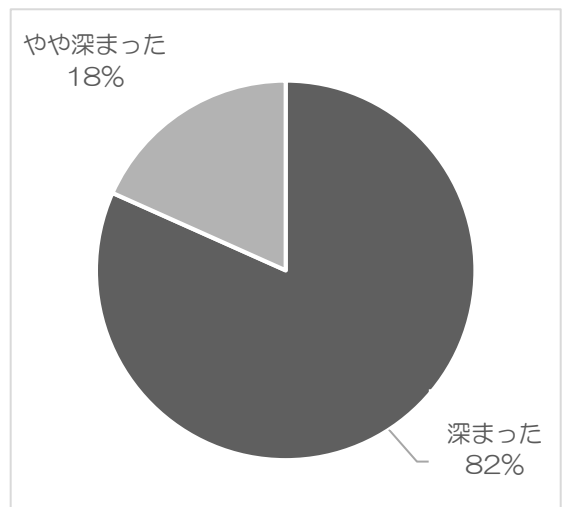
- ・ 即興で、沢山意見を出せなかったから。
- ・ 予定を調整するまでの有意義な時間ではなかった。

Q2：議会や議員に対する理解は深まりましたか？

主なご意見

<深まった>

- ・ 議員の方と一緒に活動させていただいたことでたくさんお話しすることができたから。動画がとても分かりやすく初めてすることばかりで勉強になったから。
- ・ 自分たちがして欲しいことを考えていく中でそれに対する問題点などがたくさん見付き、議員さんがいかに大変な仕事なのかを理解できたから。
- ・ 動画視聴やクイズでは、自分の知らないことをたくさん知ることができました。もともと政治には興味があったのですが、今回の意見交換会では実際に議員さんから学ぶことができ、興味がさらに広がりました。
- ・ 議会を傍聴できることと、議会の紹介動画も制作されているのでこちらから調べようと思えば詳しく知ることができるのだと分かったため。
- ・ 今まで正直、議員さんは堅苦しいイメージがあり、議会と自分の生活とでは壁があるように感じていたが、今回の意見交換会を通じて議員さんと自分たちが近い関係だということを知ることができたから。



<やや深まった>

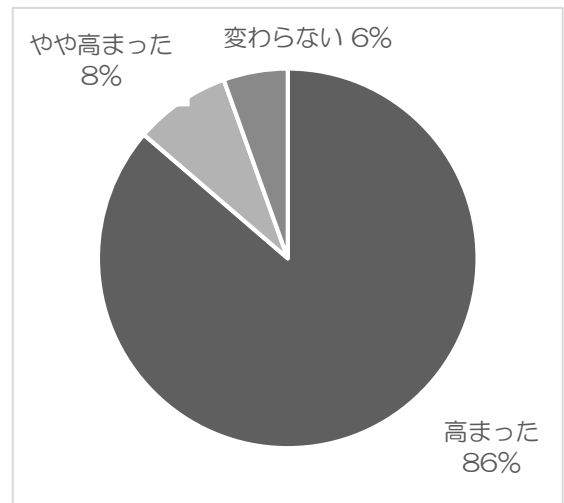
- ・ 議会クイズやムービーを通して議会や議員について知ることができたから。ただ、もう少し詳しく知りたいと思った。
- ・ もっと具体的な業務についての話も聞きたかった。
- ・ 議員の方々の知らなかった一面を知れたから
- ・ 動画を観て若干は理解できたのですが、まだまだ分からないことばかりで自分には少し早いのかなと感じました。

Q3：選挙権を得たときに、「選挙に行ってみよう」という気持ちが高まりましたか？

主なご意見

<高まった>

- ・ 私たちの投票次第で未来をより良くすることができる、そして、議員も町も市民の意見なしではより良くなると体験して実感したから。
- ・ 自分の意見を全て反映させることはできないが、自分の1票で街の未来が変わるということを実感したから。
- ・ 市を良くするために私たちができることが多いと感じたため、そのしたいことをするために市議会議員選挙に行き、自分の住みやすい地域にしたいと思った。
- ・ 頑張っている議員さんを間近で見て、自分もできることをやろうと思ったからです。
- ・ 意外と議員さんが身近にいて、「どんな街にしたいか・より良くするためアイデア」を聞いてくれて、近づけてくれて、叶えてくれる議員さんを決めるのは自分自身だということを今回の意見交換会で思ったから。
- ・ 実際に議会で行っていることを、模擬的にグループワークで活動してみて、議会に対しての親近感がとても湧いたことと、最後の議員さんのお言葉にとっても感銘を受けたからです。現在、若者の投票率が減少していますが、それは私たちに与えられた政治への参加の権利を捨てていることと同じだと思います。未来を担う若者こそ、政治に積極的に目を向け、社会を変えていきたいと感じました。
- ・ 実際に今年1度行ったが、やはり若者の政治的関心が稀薄になっていることが問題であることだと理解し、多くの若者が政治に参加すべきだと思ったから。
- ・ 既に行ったことがあるからでもあるが、自分の1票が結果を左右することもあると思うので絶対に投票に行こうと思った。



<やや高まった>

- ・ 今まで選挙についてあまり知りませんでしたでしたが、この機会で行くことができたからです。
- ・ 街で改善できることなどがたくさん出たため、自分たちの意見を伝えることが大切だと思った。
- ・ 市民一人一人の考えが大切だと感じたから。

<変わらない>

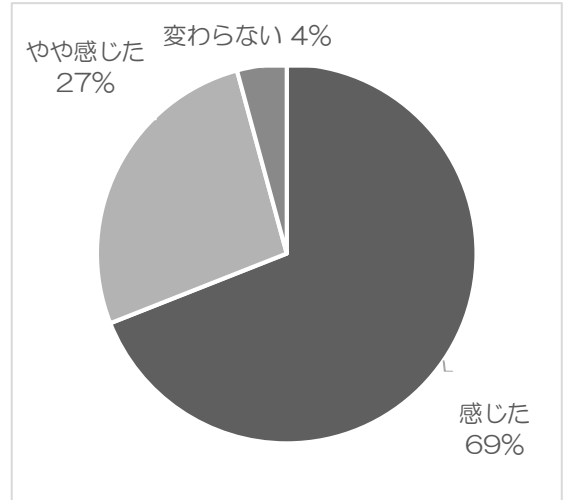
- ・ 政党に関する情報など投票に向けての話はなかったから。
- ・ もとから選挙には行くつもりでいたから。

Q4：議会や議員を身近な存在に感じましたか？

主なご意見

<感じた>

- ・ 議員は市を良くするために頑張っていて、生徒会として親近感を感じたから。
- ・ 議員さんとの会話を通して、市民のことを市民目線で考えてくれていることが分かったからです。
- ・ すごく話しやすく、自分たちのおじいちゃんのような感じでお話ができたから
- ・ 栃木市への気持ちや思いが私たちも議員の方たちも同じだったから。
- ・ 普段は選挙期間の立候補者の看板や、演説でしか知る事ができなかったから実際に会って話し合う事で信頼できるようになったから。



<やや感じた>

- ・ 人々が住みやすいようにと仕事をしてくださっていると改めて感じました。
- ・ 今まで議員さんと話をした経験が全くなかったため、偉い方というイメージが頭の中にすごくあったのですが、意見交換をしていくなかで優しく接して下さり議員さんの温かみを感じました。市民のために尽力してくださっているのだなと感じ、以前よりも身近な存在として感じられるようになりました。
- ・ 一緒に活動させていただいたときとても優しく気さくに話しかけてくださったから。でもまだ少し議員さんと聞くと固いイメージがあります。

<変わらない>

- ・ 今回は特別ということだったので、議員の皆さんと交流ができたが、このような場やイベントを設けない限り、なかなか会うことができないと思うから。
- ・ 意見交換会では身近に感じましたが、それ以外に議員さんと関わる機会がないので以前と変わらないと思います。

Q5：意見交換をしてみたいテーマがあればご記入ください。

- ・ 学校の校則について。
- ・ 日本の学校の校則は、時代錯誤なものが多い。これからの時代に合った校則に見直すには、どのようにしたらよいか。
- ・ 学校の校則について時代についてこれているか。
- ・ 日本のジェンダー・ギャップ指数を上げるには、どのような行動をすればよいか。
- ・ 栃木市が取り組んでいるSDGs、環境保護について。
- ・ 公共交通機関(バス)の利便の向上をする必要があるか。
- ・ 議員になることで得た学びや経験について。

- ・教育についてです。高校生の立場からだと、教育についてリアルな視点から考えることができると思うため、議員さんとの意見交換を出来たらと思います。
- ・栃木市の好きなどころ。
- ・ディズニーと韓国料理のお店。
- ・栃木市の不思議。
- ・住みたい街ランキング 1 位！ 観光地度 1 位！
- ・栃木市に欲しいテーマパーク。
- ・子育て、教育に関して。
- ・栃木市をさらに発展させるためにはどうしたらよいか。
- ・今回は栃木駅周辺のことについての話し合いになってしまったので、例えば、介護や福祉に絞った意見交換をしてみたいと思いました。
- ・自分が議員に立候補した場合にどんなことに力を入れたいか。
- ・税収を上げるためにどうすべきか。
- ・具体的に栃木市のどこのどんなところを改善するのか、アイデアを話し合ってみたいと思った。 例) 栃木駅周辺の空き地・空き店舗をどう活用するのか など

Q6：その他、感想やご意見等があればご記入ください。

主なご意見

- ・貴重な時間、経験をありがとうございました！！ 議会について知ることや議員さんとお話しすることはなかなかないので緊張しましたが、優しく接して下さったので楽しく参加することができました。これからもお身体には気をつけてお過ごしください。栃木市がさらに良くなることを楽しみにしています！！
- ・今日、意見交換を議員さんとできてとても良かったです！ 皆さんほんとにとっても優しく、生徒のためにアイスブレイクを入れて下さり、楽しく意見を発言することができました。これから自分たちの代になるので、より良い未来にしていこうと思いました。
- ・もっと栃木市を市民ファーストにするためにもこのような機会を作って続けてほしいです。
- ・今回は少人数で意見交換会を行ったが、次回は学校全体にアンケートをとるなどして、誰でも気軽に意見を届けられるようにしたいと思った。
- ・今回のこの貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。あまり知らなかったことや考えたことのなかった視点から議員さんと生徒会の人と話すことができてとても楽しかったです。この経験を活かして栃木市のために少しでも貢献できることがあればしていきたいです。ありがとうございました。
- ・本日はお忙しい中、本校に来校いただきありがとうございました。議員さんとの会話自体初めての経験でとても緊張していたのですが、優しく朗らかに接して下さったので自分らしく意見を発表できました。また、日頃栃木市を支えて下さっている議員の方々の方に感謝の気持ちが湧きました。これから、政治への意識を高く持ち、選挙でも積極的に投票をしたいと思います。本当にありがとうございました。
- ・意見について議論がしたい。

- ・今回、何が必要であるのか、重要性、利益等を考えて予算を振り分けることはとても大変であったが楽しく行うことができ、良い経験になった。今回学んだことを生かし選挙に行きたい。
- ・自分が感じることや、みんなが感じていることが伝えられてとっても良かったです！
- ・道の整備(道路の除草、凸凹をなくす、草が生えてくる隙間を埋める)、動物園や水族館、エミュー牧場が欲しいです。楽しい時間を過ごすことができました。皆さんとても良い方達で楽しかったです。
- ・It's very exciting.
- ・とにかく楽しかったです。
- ・自分がお世話になっている街の政治についてあまり真剣に考える機会が無かったので、この活動を通して自分が住んでいる町の政治にも興味を持っていきたいと思いました。
- ・意見交換会めちゃめちゃ楽しかったです！！

6. 令和4年度議会報告会検証結果

○開催時期について

- ・次年度予算に反映できる時期である春季開催は、各種団体の総会時期と重なることや準備等の課題があることから、引き続き、現在の10月～11月の開催を基本とする。

○議会報告について

- ・議会報告については、引き続き、書面や動画等の様々な方法により行い、幅広い世代に発信することが必要である。
- ・開催時期には、議員自らも積極的に市民から意見集約を行うことが必要である。

○意見交換会について

- ・ワークショップ形式による意見交換は、参加者全員が意見を出せることによる満足度の向上や意見が可視化される等のメリットがあることから、今後も積極的に取り入れていく必要がある。
- ・参加者から効果的に意見を引き出すために、引き続き、各議員がファシリテーションスキルの向上に努めていく必要がある。
- ・主権者教育は継続して行うことが必要であることから、高校生を対象とした意見交換会は定期的を開催することが必要である。
- ・常任委員会意見交換会については、議会改革検討委員会において任期中に少なくとも一つ研究課題を設定し、調査研究を行う方針が決定されたことから、次年度からは議会報告会の枠組みではなく、各常任委員会の調査研究活動の枠組みの中で必要に応じて開催する。

○その他

- ・議会報告会の結果等については、議員活動や各種委員会での調査研究等の議会活動に積極的に活用していくことが必要である。

参 考 資 料

○議会報告会運営委員会の設置

本市議会では、平成23年3月に制定した、「栃木市議会基本条例」の第8条において、「議会は、年1回以上議会報告会を開催し、市民との意見交換を行うものとする。」と規定し、また、同条例第2条第6項において、「議会は、市民に説明責任を果たすため、市民にとってわかりやすい説明に努めなければならない。」と規定している。

このようなことから、議会報告会を開催するため、議長の諮問機関として「議会報告会運営委員会」を設置するものである。

1. 名 称

議会報告会運営委員会

2. 組 織

各会派（5名以上の会派からは2名）及び無会派から推薦のあった委員で組織する。
委員会に、委員長・副委員長を置く。
任期は、議長の在任期間とする。

3. 会 議

委員会は、委員長が招集し、その座長となる。
委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。
議長は、委員会に出席し、意見を述べることができる。
会議結果は、適宜議長に報告する。

4. 検討事項

- (1) 議会報告会の企画・立案に関すること。
- (2) 議会報告会の開催・運営に関すること。
- (3) その他

○議会報告会運営委員会 開催状況

	開催日	議題
1	令和4年 7月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長の互選について ・副委員長の互選について ・議会報告会の概要について ・令和4年度議会報告会について
2	令和4年 7月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度議会報告会について
3	令和4年 8月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度議会報告会について ・その他
4	令和4年 9月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告資料等の検討について ・その他
5	令和4年10月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告動画等の検討について ・その他
6	令和4年12月14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成について ・提言書の作成について
7	令和5年 1月30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会結果報告書(案)について ・議会報告会開催に伴う提言書(案)について ・議会報告会の検証について

議会報告会運営委員会委員名簿

◎ 針谷正夫
○ 小太刀孝之
川田俊介
市村隆
雨宮茂樹
針谷育造
氏家晃
白石幹男
関口孫一郎

◎ 委員長 ○ 副委員長

○令和4年度 栃木市議会報告会開催要領

1 目的

市民に対して議会の活動状況を報告することで、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見等を市政に反映させることを目的とする。

2 開催方針

ウィズコロナ時代の新しい議会報告会の開催方法として、書面や動画等の多様な媒体を組み合わせて開催し、アンケートにより広く市民から報告事項や市政全般に関する意見の集約を行いつつ、年度ごとに課題を設定し、それに関係する市民等との意見交換を行う。

意見交換会については、感染防止対策を十分に講じたうえで開催するものとし、感染状況により対面での開催が困難な場合は、相手方の意向を踏まえたうえでオンラインによる開催を積極的に活用する。

3 今年度の課題と対象

今年度は若者世代の投票率の向上を課題とし、若者世代に議会に関心を持っていただき、政治参加を促すための主権者教育を行うため、市内高校生を対象とした意見交換会を開催する。

別に要領を定める。

4 報告事項

- ① 新型コロナと原油価格・物価高騰対策への議会からの提言について
- ② 令和3年度決算の審査について

5 報告方法

下記の方法により市民に対して報告を行う。

「議会だより」への掲載	11月18日(金)発行予定の議会だよりに報告資料の概要版を掲載する。(1テーマにつき1ページ程度)
議会ホームページへの掲載	議会ホームページ上に報告資料を掲載する。 ※11月1日から掲載
市施設等への資料設置 (閲覧)	報告資料を以下の市内23か所に設置する。 本庁舎4階議場入口前、各総合支所(5か所)、各公民館(11か所)、各図書館(6か所) ※11月1日から設置

報告動画	報告動画を作成し、議会ホームページや YouTube、Twitter、Facebook（市のアカウント）等の媒体で発信するほか、本庁舎4階市民スペース等で随時上映する。 ※11月1日から公開
「FMくらら」での報告	FMくららの番組に議会報告会運営委員が出演し、報告を行う。 日 時：11月4日（金）11:00～11:35 番組名：とち介Pのハッピータウン

6 市民からの意見の集約方法

下記の方法により市民から意見の集約を行う。なお、意見の集約期間は11月中とし、意見に対する個別の回答は行わないこととする。

意見箱の設置	本庁舎4階議場入口前及び各総合支所に意見箱を設置し、資料を閲覧した市民が意見を記入できるようにする。
意見送信フォームの作成	議会ホームページ上に意見送信フォームを作成する。

7 広報

下記的手段により広報を行う。

広報とちぎへのチラシ折込	広報とちぎ11月号（10月20日発行予定）にチラシを折り込む。
ケーブルテレビ	ケーブルテレビ生活文字情報等により発信する。
FMくらら	ラジオ出演やインフォマーシャルにより発信する。
SNS	Twitter や Facebook（市のアカウント）により発信する。
プレスリリース	プレスリリースにより発信する。

8 資料等作成班編成

議会報告会運営委員会委員で分担して資料等を作成する。（報告動画も含む）

新型コロナと原油価格・物価高騰対策への議会からの提言について	○針谷育造・小太刀孝之・市村隆
令和3年度決算の審査について	○白石幹男・針谷正夫・関口孫一郎
議会PR動画	○氏家晃・川田俊介・雨宮茂樹

○ 班長

9 常任委員会意見交換会

常任委員会ごとにテーマを設定し、テーマに合った団体と意見交換を行うものとする。

開催日時	・開催期間については、10月から11月とする。 ・開催時間については、相手方と調整のうえ決定する。
会場	・各常任委員会において決定する。
テーマ	・各常任委員会において決定する。

10 議会PR動画の作成

4月の改選により議会のメンバーが新しくなったことから、新たに議会PR動画を作成する。動画は議会活動の概要や議員を紹介する内容とし、若い世代を対象にした親しみやすい動画になるよう留意する。

作成した動画は議会ホームページやYouTube、Twitter、Facebook（市のアカウント）等の媒体で発信するほか、本庁舎4階市民スペース等で随時上映する。

11 昨年度の提言書に対する対応状況の報告依頼

執行部に対して、11月末までに昨年度の提言書に対する対応状況の報告を依頼する。

12 結果報告書の作成及び執行部への提言

集約した市民からの意見は結果報告書にまとめる。

意見のうち、特に参考とすべき事項については提言書として市長あてに提出する。

13 議会報告会の結果等の活用

結果報告書及び提言書については、議員活動や各種委員会での調査研究等の議会活動の参考とするものとする。

○高校生との意見交換会開催要領

1 目的

将来を担う若者世代への主権者教育の一環として、議員との意見交換を通して、議会の役割と政治に参画することの重要性への気づきを促すとともに、異なる意見を整理して合意を形成する力を育み、議会・議員を身近な存在として認識していただくことを目的とする。

2 開催方法

全議員で班を編成し、マスク・手指の消毒・検温等の基本的な感染防止対策を講じつつ、議員が各高校に訪問し、対面により開催する。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、対面での開催が困難な場合は、相手方の意向を踏まえつつオンラインにより開催する。

3 日程

高校名	日 時
栃木翔南高等学校	11月 1日（火） 16時00分～
栃木高等学校	11月 2日（水） 17時00分～
栃木商業高等学校	11月 4日（金） 16時00分～
栃木女子高等学校	11月 8日（火） 16時10分～
栃木工業高等学校	11月10日（木） 16時00分～
栃木農業高等学校	11月16日（水） 16時00分～
学悠館高等学校	11月17日（木） 15時15分～
國學院大學栃木高等学校	11月24日（木） 16時00分～

4 テーマ

「もし私が栃木市議会議員になったら」

こんな栃木市だったらいいのに、栃木市のこんなところを改善してほしい、といった普段感じていることをもとに、もし自分が栃木市議会議員という立場だったら、どのような栃木市にしたいかについて意見交換を行う。

5 次第

次 第	時間目安	内 容
1. 開会		
2. あいさつ	2分	議員代表
3. 議会の説明	(1) 議会の概要説明	5分 議会 PR 動画の上映
	(2) 議会クイズ	5分 3問程度

	(3) 議員への質問	5分	自由に質問してもらう
4. 意見交換 (グループ)	(1) 導入	5分	意見交換のゴールやテーマ、ワークの説明
	(2) 自己紹介・アイスブレイク※1	5分	緊張をほぐす
	(3) 意見交換	10分	①ブレインストーミング※2
		20分	②親和図法※3による整理
	15分	③疑似的な予算の振り分け	
(4) 発表・まとめ	15分	班ごとに発表し全体で共有 発表：高校生、補足：議員 全体のまとめ	
5. 感想		3分	議員代表、高校生代表
6. 閉会			集合写真撮影

※1 アイスブレイク

初対面の人同士の緊張をほぐすために、簡単なゲームや雑談を行い、意見を述べやすい雰囲気を作ること。

※2 ブレインストーミング

グループのメンバーが、あるテーマについて自由に意見を出し合う手法。①質より量を優先する、②批判はしない、③自由に突拍子のない意見も歓迎する、④他の人の意見からの連想・便乗を推奨する、の4つの原則がある。付箋紙に意見を簡潔に記入し、模造紙に貼り付けていく。

※3 親和図法

ブレインストーミングで出された多くの意見をグループ化し、整理する手法。模造紙に貼られた付箋紙を似た意見をグループ化(大グループ、中グループ)し、見出しを付けて整理・可視化していく。

【オンラインによる開催の場合】

オンライン会議ツール「Zoom」を利用し、議員は各自のタブレット端末から参加する。第1部は全体で画面共有により動画を上映、議会クイズ、議員への質問を行い、第2部ではブレイクアウトルーム機能(班分け機能)を利用して、グループに分かれて意見交換を行い、発表・まとめは全体で行う。オンラインによる開催の場合はブレインストーミング、親和図法などのワークは行わず、口頭で意見交換を行う。

6 役割分担

役割	留意事項
班長	・班を統括する。
副班長	・班長を補佐し、班長に事故あるときは、班長に代わり班を統括する。
司会	・全体の進行を行う。

グループ進行役	<ul style="list-style-type: none"> • 班ごとの意見交換の進行を行う。 • 参加者からより多くの発言が得られ、活発な意見交換となるよう配慮する。
グループ記録者	<ul style="list-style-type: none"> • 班の意見を整理し、高校生の発表の補足を行う。

※議会クイズ及び議員への質問の答弁は、班全員で臨機応変に行う。

※会議記録の作成のため、各班にICレコーダーを1台置く。

7 班編成

班	訪問する高校	議員
1班	栃木翔南高等学校（11月1日） 栃木工業高等学校（11月10日）	川田、小太刀、雨宮、古沢、天谷、針谷(正)、福田
2班	栃木高等学校（11月2日） 栃木女子高等学校（11月8日）	市村、小平、大谷、松本、氏家、小堀、白石
3班	栃木商業高等学校（11月4日） 栃木農業高等学校（11月16日）	森戸、針谷(育)、小久保、青木、梅澤、広瀬、関口
4班	学悠館高等学校（11月17日） 國學院大學栃木高等学校（11月24日）	浅野、大浦、坂東、内海、福富、中島、大阿久

8 その他

(1) 議員個人の意見

議員個人の意見は述べても良いが、自分の意見への誘導はしないこととする。

(2) 執行部への提言について

意見交換会において出された意見のうち、特に参考とすべき事項については、提言書として市長あてに提出する。

(3) 議員の服装

より親しみやすい雰囲気のもと意見交換を行うため、とち介ポロシャツ等のカジュアルな服装とする。（スーツは不可）

(4) アンケートの記入依頼

意見交換会及び議会報告についてのアンケート記入を依頼する。

新型コロナと原油価格・物価高騰対策への 議会からの提言について

1. 子育て世帯生活支援特別給付金（拡大給付）
2. 民間保育所等物価高騰対策補助金
3. 介護施設等・障がい者支援施設等
物価高騰対策補助金
4. 原油価格等高騰対策事業者支援補助金
5. 米生産者経営意欲推進事業負担金・
燃油・飼料物価高騰対策支援事業補助金
6. 学校給食地域生産者応援事業費
7. おわりに



栃木市

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）を主として活用し、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民や市内事業者に対する支援として、特に重点をおいて取り組むべき事業を議会から市に提案しました。

その提案を受けて、令和4年6月定例会で予算化され、市が新たに取り組むこととした事業についてご説明いたします。

<用語解説>

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）

コロナ禍において原油価格や物価高騰の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図ることを目的に国から交付されるお金です。

1. 子育て世帯生活支援特別給付金(拡大給付)

コロナ禍における食料品、生活用品の価格高騰に対する支援

〈国の制度〉

子育て世帯生活支援
特別給付金

支給対象

低所得の子育て世帯

支給対象外

所得超過のひとり親世帯

「議会」
給付拡大
を提案

給付金の拡大給付

(所得超過のひとり親世帯)

対象世帯数：750世帯

予算額:2,700万円

・3万円が支給

(一人当たり)

子育ての公平性を確保



栃木市



長期化するコロナ禍の中で、食料品、生活用品等の価格高騰に直面しながらも、所得超過のため、国の制度である『低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金』の支給の対象とならないひとり親世帯に対して、給付金の拡大給付を提案しました。

これを受けて対象世帯数 750 世帯、対象児童数約 900 人に対し一人当たり 3 万円が支給されることになり、6 月定例会において 2,700 万円の予算を承認しました。

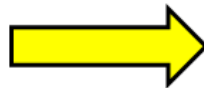
これにより、これまで給付を受けられなかったひとり親世帯へ支援をすることで、子育ての公平性の確保を図ることができました。

2.民間保育所等物価高騰対策補助金

コロナ禍における物価高騰に対する補助

民間保育所等

- ・ 給食の材料費高騰
- ・ 光熱水費の増加



「議会」
増加分の
負担を
提案

物価高騰対策事業

予算額:2,400万円

- ・ 対象園児：4,000人
- 500円×12か月**
(園児一人当たり)



保護者負担の増加を防ぐ



栃木市

昨今の物価高騰により、保育所等の給食の材料費が高騰していることを受け、不足が見込まれる保育所等の給食材料費や光熱水費の増加分の負担を提案しました。

これを受けて、民間保育所等に対し、対象園児 4,000 人の価格上昇分の費用(園児一人当たり 1 か月の上昇分 500 円を 12 か月)が補助されることになり、6 月定例会において 2,400 万円の予算を承認しました。

これにより、これまでと変わらない負担で給食を提供できるよう支援することができました。

3.介護施設等物価高騰対策補助金 障がい者支援施設等物価高騰対策補助金

コロナ禍における物価高騰に対する補助

介護施設等
障がい者支援施設等

・食材費の高騰

サラダ油
小麦粉
調味料
肉、魚etc



「議会」
食材費補助支援を
提案

食材費助成事業

予算額:3,653万円

・1日40円の補助
(一人当たり)

・入所者等の食の質低減防止
・事業者の健全な運営の支援



栃木市

コロナ禍における物価高騰の影響を受け、介護施設等および障がい者支援施設等への食材費補助支援を提案しました。

これを受けて、1日3食を提供している施設に対し一人当たり1日40円の食材費が補助されることになり、6月定例会において介護施設等物価高騰対策補助金3,269万円、障がい者支援施設等物価高騰対策補助金384万円、併せて3,653万円の予算を承認しました。

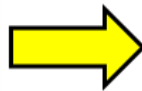
これにより、入所者等の食の質低減防止、事業者の健全な運営を支援することができました。

4. 原油価格高騰対策事業者支援補助金

コロナ禍における原油価格等高騰に対する補助

影響を受けている事業者

- ・トラックなどの地域物流事業者
- ・観光バス事業者および宿泊事業者
- ・その他の事業者



原油価格等助成事業

予算額:2億円

「議会」
経営の支
援を提案

- ・燃料費
- ・電気料



経費の一部を補助

※上限30万円

事業者への経営支援



栃木市

原油価格等高騰の影響を受けている中小事業者（個人事業者を含む）または社会福祉法人に対し、経営の支援を提案しました。

これを受けて、広く影響を受けている市内事業者（トラック等の物流事業者・観光バス及び宿泊事業者・その他事業者）に対し、燃料費及び電気料高騰分が補助（上限30万円）されることになり、6月定例会において2億円の予算を承認しました。

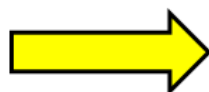
これにより、事業者への経営支援を実施することができました。

5.米生産者経営意欲推進事業負担金 燃油・飼料物価高騰対策補助金

コロナ禍における燃油・物価高騰に対する補助

影響を受けている
農業者

- ・ 価格低迷
- ・ 燃料の高騰
- ・ 飼料の高騰
- ・ 肥料の高騰



「議会」
経営に与える影響の緩和
経営意欲を維持・喚起するための支援を提案

農業者への支援

米生産者経営意欲推進事業
(国の施策に協力している飼料用米、
米粉用米、WCS生産農家)

予算額：7,760万円

作付面積10a：3,500円約1,400人

燃油・飼料物価高騰対策支援
(施設園芸農家・畜産農家)

予算額：8,500万円

燃料費・飼料費高騰分の2分の1
(上限30万円)

栃木市

コロナ禍による農畜産物の需要減少、価格低迷、燃料・飼料・肥料の価格高騰が農業経営に与える影響を緩和し、経営意欲を維持・喚起するための支援を提案しました。

これを受けて、市農業再生協議会に営農計画書を提出している飼料用米、米粉用米、WCS（ホールクroppサイレージ：稲の穂、茎、葉をまるごと収穫しフィルムに包んで発酵させた牛の飼料）生産農家約1,400人に対して作付面積10aにつき3,500円が、施設園芸農家および畜産農家に対して燃料費および飼料費高騰分の2分の1（上限30万円）が補助されることになり、6月定例会において米生産者経営意欲推進事業負担金7,760万円、燃油・飼料物価高騰対策補助金8,500万円の予算を承認しました。

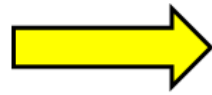
これにより、農業者への支援を実施することができました。

6.学校給食地域生産者応援事業

コロナ禍における物価高騰に対する支援

農業者疲弊

- ・原油価格高騰
- ・肥料等の高騰



「議会」

地元産食材
を学校給食
で提供する
ことを提案

地域生産者応援事業

予算額:555万円

- ・米粉パン購入費
(@71.46円×提供回数6回
×児童生徒数12,000人)

- ・農業者への支援
- ・児童生徒に地元食材への関心をもってもらおう



栃木市

コロナ禍の長期化や原油価格、肥料等の物価高騰により疲弊した農業者を支援するため、地元産食材を学校給食で提供することを提案しました。

これを受けて、栃木市産コシヒカリを使用した米粉パンの購入費（児童生徒12,000人に対し、単価71.46円×提供回数6回）として、6月定例会において555万円の予算を承認しました。

これにより、農業者への支援とともに、児童生徒の地元食材への関心につなげる食育支援を実施することができました。

7.おわりに

市議会といたしましても、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するとともに、長引くコロナ禍において影響を受けている市民の皆さまや地域経済への支援について、市と連携・協力のもと、これからも全力で取り組んでまいります。



令和3年度 決算の審査について

1. 決算審査と決算特別委員会
 2. 決算審査の流れ 9月議会の中で
 3. 令和3年度 決算概要（一般会計）
 4. 前年度との比較（一般会計総額）
 5. 前年度との比較（項目別）
 6. 総務分科会・民生分科会
 7. 産業教育分科会・建設分科会
 8. 会派代表質疑
 9. 討論
 10. 決算の認定
- （参考）決算を確認する方法等



決算特別委員会 全体会



令和3年度 決算の審査についてご説明いたします。

1. 決算審査と決算特別委員会

決算特別委員会？

議長・議会選出監査委員を除く

- ・9月定例会において設置（議員全員が委員）

「決算」を審査するための特別委員会



審査する内容が多岐にわたるため
4つの【分科会】に分かれて審査

決算特別委員会
【全体会】

【分科会】

- ・総務分科会
- ・民生分科会
- ・産業教育分科会
- ・建設分科会



栃木市

決算審査とは、1年間の栃木市全体のお金の使い方等について審査をするものです。

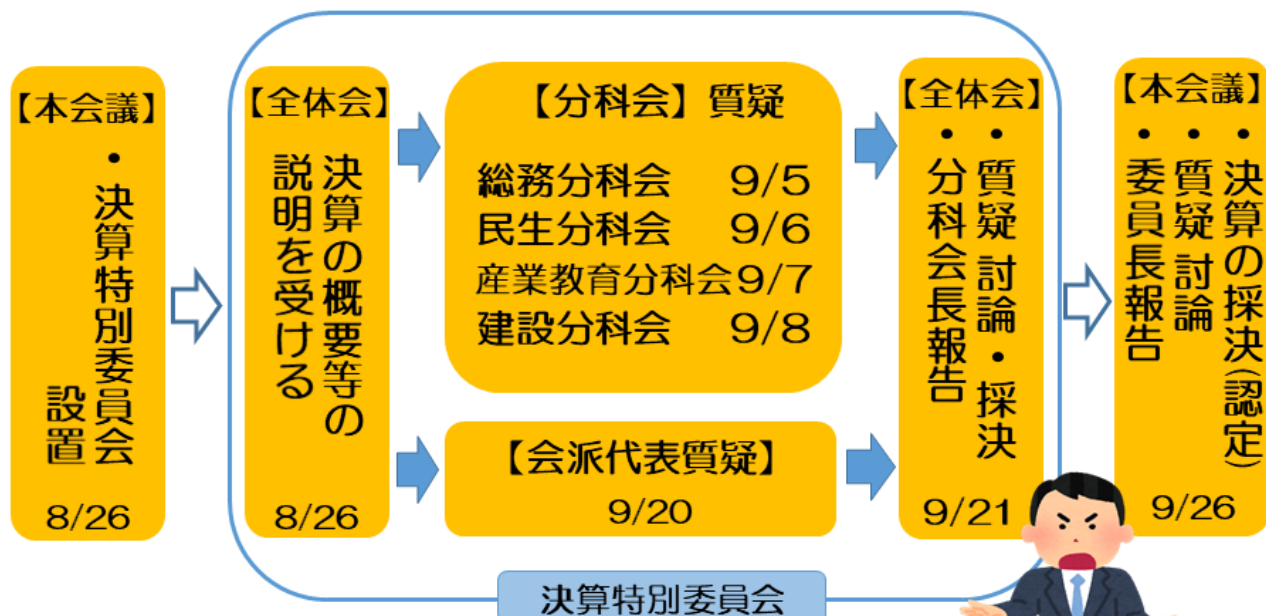
審査は決算特別委員会が設置され、議長及び議会選出の監査委員を除く議員全員が委員となります。審査内容が多岐に渡るため、部門別に4つの分科会に分かれ、委員はいずれかの分科会に所属し、審査を進めます。

<用語解説>

決算特別委員会 「決算」の認定審査のため、設置される委員会

2. 決算審査の流れ 9月定例会の中で

決算特別委員会の審査の進め方は？



栃木市

決算特別委員会では、決算の審査にあたり、決算特別委員会の正副委員長の互選を行った後、市執行部から決算の概要と主要事務事業の説明を受け、各分科会において審査が進められます。

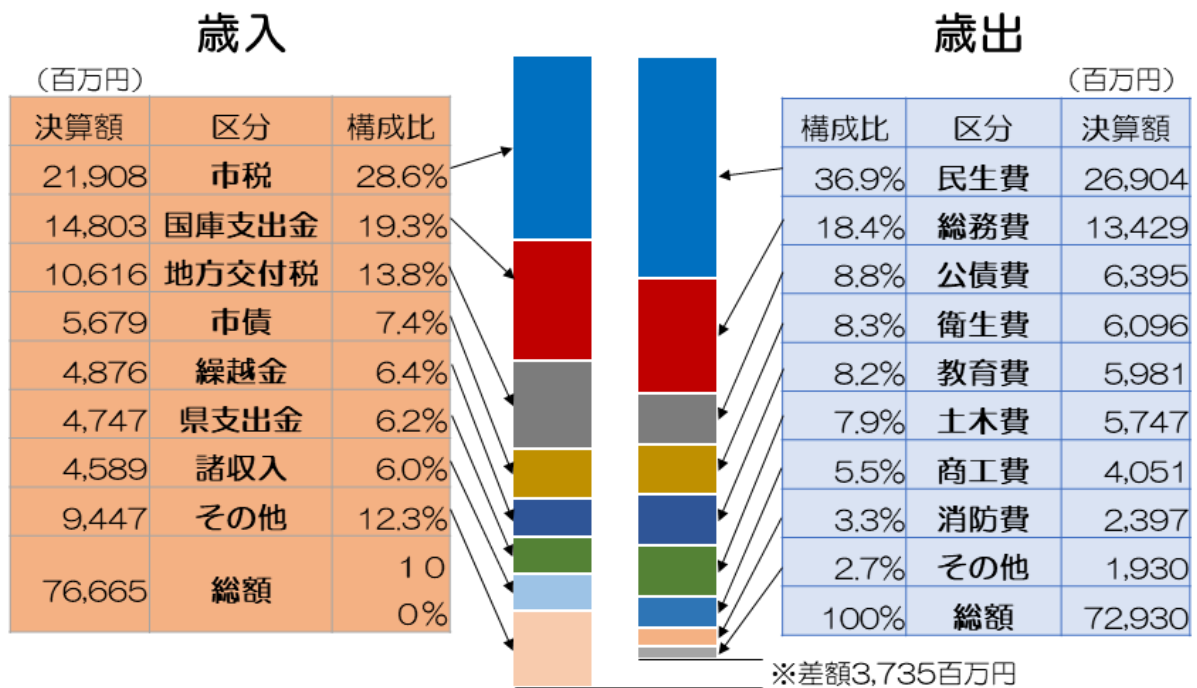
なお、議員は自ら所属していない分科会に関する内容についても会派代表質疑により審査の機会が設けられています。

令和4年度においては、9月5日～8日に各分科会を開催し、所管の事業について審査を行いました。9月20日に会派代表質疑、21日に各分科会長から審査内容が報告され、9月26日の9月定例会最終日の本会議では、決算特別委員会委員長からの審査結果報告を受け、質疑・討論後、採決により決算が認定されました。

<用語解説>

分科会 「委員会」に付託された案件をいくつかに分け、所属委員が全員で分担して審査するために委員会内部に設置される機関

3. 令和3年度 決算概要（一般会計）



栃木市

今回審議された決算内容のうち、一般会計については、歳入が約 766 億 6 千 5 百万円、歳出は約 729 億 3 千万円でした。

歳入と歳出の差額約 37 億 3 千 5 百万円については、次年度の事業に引き継ぐ繰越金等となります。

4. 前年度との比較(一般会計総額)

前年度の決算との比較 一般会計

歳入

R2年度 943億 1,700万 8,707円

R3年度 766億 6,505万 6,501円

約177億円 減額

歳出

R2年度 894億 4,088万 3,969円

R3年度 729億 2,969万 6,453円

約165億円 減額



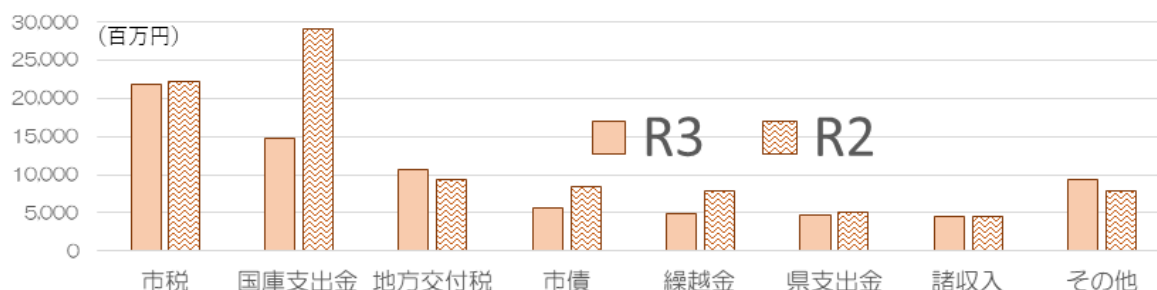
栃木市

令和3年度の決算規模について、前年度と比較すると、歳入で176億5,195万1千円(18.7%)の減額、歳出で165億1,118万7千円(18.5%)の減額となりました。

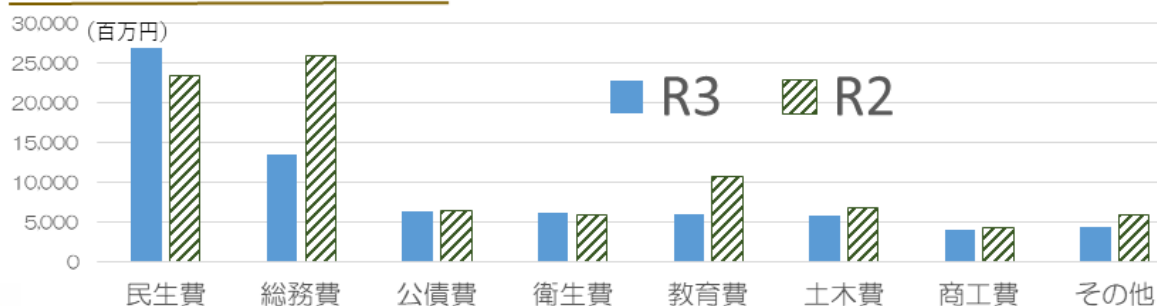
令和3年度では、新型コロナウイルス感染症の対策に関わる事業等に対する歳入・歳出の増額もありましたが、令和2年度に実施しました特別定額給付金(給付対象者1人当たり10万円の給付)に関わる歳入・歳出の減額が大きかったため、結果として歳入・歳出とも減額しました。

5. 前年度との比較(項目別)

一般会計 (歳入)



一般会計 (歳出)



栃木市

決算額について、歳入・歳出を項目別に分けると図のようになります。
令和3年度と令和2年度と比較しますと、項目ごとの決算額も大きく異なることがわかります。

歳入増額の主なものは、地方交付税等であり、減額の主なものは、国庫支出金、繰越金、市債であります。

また、歳出の増額の主なものは、民生費、衛生費等であり、減額の主なものは、総務費、教育費等であります。

歳入の国庫補助金と歳出の総務費が前年度と比較し大幅に減額となった点は、前ページ【4. 前年度との比較(一般会計総額)】でも触れましたとおり、特別定額給付金(給付対象者1人当たり10万円の給付)に関わる歳入・歳出の減額が大きく関わっております。

このように、決算の内訳も大きく変化するため、決算審査の過程で、どのような事業に予算が使われているか、その事業はこれからも必要なものかなどを審査していきます。

6. 総務分科会・民生分科会

総務分科会

9月5日に開催し、決算の認定1件「令和3年度 栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管関係部分」について審査

所管部署

総合政策部・経営管理部・地域振興部
消防本部・会計管理者・議会事務局
選挙管理委員会・監査委員事務局



民生分科会

9月6日に開催し、決算の認定5件「令和3年度 栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管関係部分」及び「特別会計歳入歳出決算(4件)」について審査

所管部署

生活環境部・保健福祉部・こども未来部



栃木市

総務分科会での主な質疑

●（仮称）渡良瀬サイクルパーク整備事業費

Q：オープン後の利用状況は

A：5月から7月までの3カ月間の来場者数は、月平均、約900名という数で推移している。

民生分科会での主な質疑

●市民相談事業費

Q：相談件数は

A：市民相談が609件、弁護士相談が201件、宅地建物相談が39件、行政相談が38件、合同相談が1件である。

●保育所費

Q：待機児童数は

A：毎年4月1日現在で国の基準に基づく待機児童を公表することになっているが、今年度の待機児童はいない。

7. 産業教育分科会 ・ 建設分科会

産業教育分科会

9月7日に開催し、決算の認定2件「令和3年度 栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管関係部分」及び「特別会計歳入歳出決算」について審査

所管部署

産業振興部・農業委員会・教育委員会事務局

建設分科会

9月8日に開催し、決算の認定4件「令和3年度 栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管関係部分」、「特別会計歳入歳出決算(1件)」「企業会計決算(2件)」について審査

所管部署

都市建設部・上下水道局



栃木市

産業教育分科会での主な質疑

●ナラ枯れ被害緊急対策事業費

Q：実施個所数は

A：岩舟町静地内7本、藤岡町赤麻地内1本、藤岡町大前地内3本、岩舟町静の岩船山1本、平井町地内6本、岩舟町三谷地内51本、大平町西山田地内26本の被害木を伐倒し、害虫駆除を行った。また、吹上町地内の事業所内にある147本については、被害の駆除に対する補助を支出している。

●就学時心臓検診充実強化事業補助金

Q：補助内容は

A：心臓検診に対する一人当たり500円の県補助金である。

建設分科会での主な質疑

●木造住宅耐震化促進事業費

Q：事業の概要は

A：旧耐震基準で建築された木造2階建ての一戸建て住宅などの耐震診断費用、耐震改修費用及び耐震建て替え費用等の一部を補助するものである。

8. 代表質疑

会派代表質疑

4会派から10件の発言要旨

- 一般会計歳入について
- 一般会計歳出について
- 基金について
- 財政調整基金と減債基金について
- 単年度収支の赤字について
- 改善した経常収支比率について
- 下水道事業の健全経営に向けて
- コロナ禍における財政状況
- 地方交付税について
- ふるさと納税について



栃木市

会派代表質疑は各会派の代表者が委員会に付託された議案に対して、市が実施する施策や事務事業の根本的な方向性や市民生活への影響等について行う質疑です。

また、質疑の持ち時間は、交渉会派：20分以内、一般会派：15分以内、無会派：10分以内となります。

なお、9月20日開催された決算特別委員会では、4会派が会派代表質疑を行い、発言要旨は10件（一般会計9件、下水道会計1件）であり、4会派の内訳としては、交渉会派：2、一般会派：1、無会派：1でした。

会派：市政に関する基本的な考え方で同一の理念を共有する議員により結成された2人以上の議員の団体

交渉会派：議員定数の12分の1以上の議員が所属する会派

一般会派：交渉会派以外以外の会派

無会派：会派に所属しない議員

9. 討論

反対討論 認定第1号について（主な討論）

- ・コロナ対策では、市独自の大規模なPCR検査体制を構築すべきであった。
- ・ふるさと応援寄附事業費及びマイナポイント等設定支援事業費について、本当に市民のためになっているかを再考すべきである。

賛成討論 認定第1号について（主な討論）

- ・防災・減災対策、子育て支援、事業者支援、地域活性化対策など、ソフト事業とハード事業の両面で効果的に取り組み、かつ地域バランスにも配慮した施策が展開されている。



決算特別委員会で審査された決算は、本会議で報告が行われた後、報告に対する質疑及び討論が行われます。

今回の令和3年度決算における質疑はありませんでしたが、2名の反対討論（認定第1号～認定第4号について）と1名の賛成討論（認定第1号～認定第4号について）がありました。

認定第1号：令和3年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定

認定第2号：令和3年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

認定第3号：令和3年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

認定第4号：令和3年度栃木市介護保険特別会計

（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定

◎ 決算は、この他に認定第5号～認定第9号まであります。

10. 決算の認定

採決結果

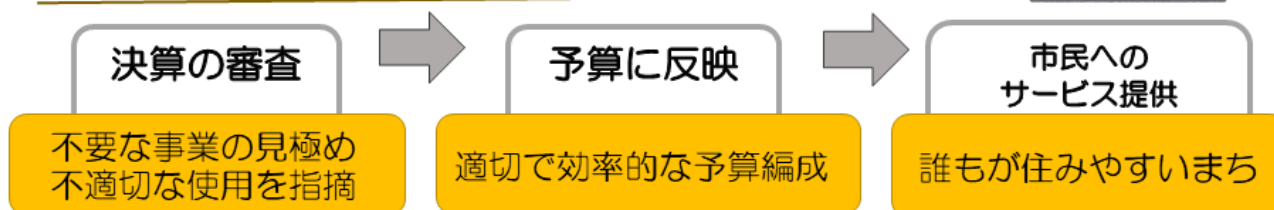
認定第1号～9号について

⇒ 『認定すべきものとする』 認定 9件

- ・令和3年度栃木市一般会計歳入歳出決算
- ・特別会計歳入歳出決算 6件
- ・企業会計決算 2件



決算の審査は「重要」



栃木市

令和4年第5回定例会において、決算特別委員会で審査された令和3年度の決算については、9月26日の本会議で9件が認定されました。

決算審査は、不要な事業を見極め、予算が不適切な使われ方をされていないかを確認するとともに、必要とする事業を適切かつ効果的に次年度以降の予算に反映させるための重要な役割を担っておりますので、引き続き慎重な審査を実施してまいります。

(参考) 決算を確認する方法 等

決算はどこで確認できる？

- ・広報とちぎ（概要版）
- ・情報センター（本庁舎4階）



栃木市の予算（各会計の名称）

- ・栃木市一般会計
- ・特別会計 6件
栃木市国民健康保険特別会計 栃木市後期高齢者医療特別会計
栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)
栃木市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)
栃木市インター西産業団地特別会計 栃木市平川産業団地特別会計
- ・企業会計 2件
栃木市水道事業会計 栃木市下水道事業会計



栃木市

令和3年度 決算の審査について紹介してきましたが、本庁舎4階の情報センターに「決算書」が配置されておりますので、栃木市の決算について、より詳しく確認することができます。

また、広報とちぎ11月号で決算の概要を確認することもできます。

なお、今回の議会報告は動画でも配信しておりますので、ぜひご覧ください。

令和3年度議会報告会開催に伴う提言書に対する市の対応

提言事項1 今後に備えた新型コロナウイルス対策について

【議会としての提言】

① 今後の感染拡大に備えた医療・検査体制の確保

議会報告会で行った市民へのアンケート（以下「アンケート」という。）結果によると、今後市に求める対応として「PCR検査」や「医療」と回答した方が多いことから、感染が拡大して医療が逼迫した場合に、適切な医療等を受けることができるのか不安に思っている市民が多いということが伺える。

このような市民の不安を解消するためには、今後の感染拡大に備えた医療・検査体制の確保が重要であることから、市の役割の範囲内において最大限の対応を行うとともに、市では対応できないことについては国や県に対して適宜要望を行っていくこと。

また、特に自宅療養者や事情により外出が困難である方への支援体制の整備を望む意見が寄せられていることから、必要に応じて県から自宅療養者名簿の提供を受けるなど関係機関と連携して対象者に寄り添った、適切な支援を行うこと。

② 補助金・給付金等の充実

アンケート結果によると、今後市に求める対応として①と同等に多かったのが「各種助成金・手当」や「経済支援」との回答であり、長引くコロナ禍で経営が苦しい事業者や経済的に困窮している方が多いことが伺える。

市はこれまでも新しい生活様式対応事業所支援補助金や子育て世帯プラスサポート給付金などの様々な支援策を展開しているが、今後も市民のニーズ、地域の特性及び公平性・公正性を考慮した効果的な支援策を講じること。

また、補助金・給付金等の申請について、手続きの簡素化を求める意見も寄せられていることから、可能な限り手続きを簡素化し、速やかな支援を行うこと。

③ 高齢者への情報発信を地域ぐるみで行う体制の整備

アンケート結果によると、高齢者の情報収集手段としては「広報とちぎ」、「近所・職場・友人との会話」、「新聞」との回答が多くなっている。市は最新の情報を市のホームページや新聞折込チラシ等で発信しているが、インターネットから情報を収集する高齢者は少ない傾向にあり、新聞折込チラシも新聞を取っていない方は窓口に出向かなければ手に入らないため、情報弱者が置き去りにされるという問題がある。実際、チラシが届かずワクチン接種が遅くなってしまった等の意見も寄せられている。

このような問題を解消するため、特に高齢者のみの世帯など、情報面で周囲のサポートが得にくい方への情報発信については、一番身近な共同体である自治会との連携や民生委員、ふれあい相談員などの既存の仕組みを活用する方法も考えられることから、高齢者への情報発信を地域ぐるみで行う体制の整備について検討すること。

【市の対応】

① 今後の感染拡大に備えた医療・検査体制の確保

医療・検査体制の確保につきまして、市として実施できることに限りがございますので、感染状況等を踏まえ、国や県に対して、必要な要望を実施してまいります。

なお、市では、令和3年度より実施しております高齢者施設や障がい者施設の従事者を対象とした、定期的PCR検査や、陽性者の発生した高齢者施設や障がい者施設、小中学校、保育園等の子育て関係施設でのPCR検査を継続してまいります。

自宅療養者名簿につきましては、全数報告が見直しされたことに伴い、全対象者の名簿の提供を受けることは不可能となっており、現在は、高齢者等報告書の提出が必要な方の名簿の提供を受けております。

なお、自宅療養者への支援は、主に栃木県が実施しており、市では県の支援物資が届くまでの食料等がない場合、その間の食料等を支援しており、今後も継続してまいります。

(新型コロナウイルス感染症対策室)

② 補助金・給付金等の充実

補助金・給付金に関しましては、今後も市民のニーズ、地域の特性及び公平性・公正性を考慮し、支援の効果が市民の皆様や事業者に直接的に及ぶ支援策を講じてまいります。

また、申請の際の手続きにつきましては、可能な限り簡素化し、速やかな支援を推進してまいります。(総合政策課)

③ 高齢者への情報発信を地域ぐるみで行う体制の整備

市の情報発信につきましては、毎月発行する「広報とちぎ」などの紙媒体をはじめ、ホームページやSNSなどのインターネット、さらには、ケーブルテレビやFMくらら857などのテレビ・ラジオを活用して広く発信しております。

また、今すぐ見ていただきたい情報については、ホームページやSNSなどのインターネットにて発信しておりますが、インターネットから情報を収集する高齢者が少ないことから、広報紙より早く情報をお届けできる紙媒体として、新聞折込を活用しております。

なお、70歳以上の高齢者のみの世帯につきましては、高齢者ふれあい相談員事業を実施しております。ふれあい相談員が月に数回ご自宅を訪問する外、月に1回、市が発行するふれあい通信を届けています。

ふれあい通信につきましては、高齢者に知っていただきたい内容を作成するよう心掛けておりますので、今後も各課と連携し、必要な情報をお伝えできるよう努めていきます。

(高齢介護課)

提言事項2 教育現場におけるタブレット端末の活用について

【議会としての提言】

① 情報モラル教育の推進

アンケート結果によると、児童生徒がタブレット端末を使用することの課題として、タブレット端末を使いこなすスキルよりも、インターネットによるいじめや不適切な使い方への

不安から、情報モラル教育を重視する意見が多く寄せられている。

学校では、現在も道徳の時間や学級活動において情報モラル指導を行っているが、G I G Aスクール構想は令和3年4月に始まったばかりであることや、情報通信技術の進展やサービスの変化を踏まえると、今後も様々な問題が発生することが推測される。学校は児童生徒や保護者の意見等も確認するなど、タブレット端末の使用の実態、影響の把握に努め、学校と家庭、地域が連携して効果的に情報モラル教育を推進すること。

② 健康面への配慮

アンケート結果によると、タブレット端末の使用による姿勢・視力低下などの健康面への影響を心配する意見も多く挙がっている。

対策としては、例えば、使用時間の調整や教室の明るさの調整、健康面への影響に関する情報を提供するなどが考えられるが、ハードとソフトの両面から対策を検討し、健康面の影響が最小限となるよう配慮すること。

③ 教職員へのサポート体制の充実

アンケート結果によると、教職員に対しては情報モラルに加え、ICTに関する専門的な知識・スキルが必要であるとの意見が挙がっている。

一方で、特に高齢の教師が短期間で知識・スキルを身につけることへの負担を心配する意見も寄せられていることから、校内・校外での研修の機会を設けたり、必要に応じてICT支援員を配置したりするなど、教職員へのサポート体制を充実させること。

【市の対応】

① 情報モラル教育の推進

G I G Aスクール構想の実現に向けて、令和3年8月に「ICTを活用した教育に関する方針」を策定し、タブレット端末等のICTを活用した授業において、情報モラルに関する適切な指導を行うことの重要性を示しました。方針を基に、道徳、学級活動、総合的な学習を中心にしながら、各教科等においても適切な指導を行えるよう、各小中学校において情報モラル年間指導計画を作成し、計画的に情報モラル教育を実施しております。

また、保護者向けのリーフレットを活用しながら、ルールに沿ったインターネットの安全な使用について啓発に努めております。

今後も、児童生徒がICTを適切かつ効果的に活用できる力を身に付けられるよう情報モラル教育を推進してまいります。（学校教育課 グローバル教育推進室）

② 健康面への配慮

タブレット端末を使用する際には、画面の反射や室内の明るさ、使用する際の姿勢や画面から目の距離、長時間の使用を避けて目を休めることなどについて、授業において配慮するとともに、児童生徒が自分自身で判断できるように指導を行ってまいります。

また、家庭の協力を得られるよう、保健だよりやタブレット端末の使用に関するリーフレットにおいても健康面への配慮等について取り上げ、啓発に努めてまいります。（学校教育課 グローバル教育推進室）

③ 教職員へのサポート体制の充実

教職員のICT活用推進のサポートのために、令和3年度当初の導入研修と各学校の希望に合わせた選択型研修を行いました。令和4年度も年2回の選択型研修を実施しております。

また、各校の参考となる市内小中学校の取組事例等の情報を収集・発信するとともに、各校の情報教育担当者が情報交換するための栃木市情報教育コミュニティを設定するなど、教職員のICT活用指導力向上の推進に努めております。

今後も、教職員のICT活用推進のためサポート体制の充実に努めてまいります。(学校教育課 グローバル教育推進室)

提言事項3 栃木市の魅力を生かす観光政策について

【議会としての提言】

① 「栃木市といえばこれ」のPR強化を

栃木商業高校ビジネス研究部との意見交換会では3班に分かれて意見交換を行ったが、全ての班で出されたのが、「栃木市にはこれだというものがない、知らない」などのPR不足を指摘する意見であった。市では「Tochigi City Promotion Design」においてシティプロモーションの基本方針を定め、様々なPRを行っているが、様々な情報が溢れている中で、市の取組みが十分に伝わっていないのが現状である。

栃木市はそれぞれの地域に数多くの観光資源を有しているため、それらの観光資源を組み合わせることで魅力を高めるなど、誰もが「栃木市といえばこれ」を挙げることができるように、PRを強化し、情報の共有を図ること。

また、PRにあたっては、担当課が個別に行うだけでなく、広報課を中心に観光、農業、スポーツ、地域づくり担当課が民間企業や他自治体等と連携し、共同PRを展開するなどの戦略的なPR活動の体制を構築すること。

② 公共交通を活用した多様なモデルルートの設定

「栃木市観光基本計画」でも触れられているように、合併により市域が広域化したことにより、様々な観光地が市内に点在しており、観光地間の連携が不十分であるといった課題がある。意見交換会ではこの課題を踏まえ、「市内観光地をつなぐ」をテーマとして意見交換を行ったが、「交通の便が悪くて行くのが大変」といった意見のほか、恋愛成就などの新たな視点によるモデルルートの提案が出されたところである。

栃木市を訪れる観光客の多くは自動車を訪れているものの、学生等の自動車がない方でも気軽に市内の観光地を訪れることができるように、ふれあいバスなどの公共交通を活用し、食や歴史、恋愛成就などの多様なテーマに沿ったモデルルートを作成し紹介すること。

③ 渡良瀬遊水地の利活用の促進

渡良瀬遊水地は治水・利水の機能だけでなく、歴史や多様な動植物、様々なレジャー・スポーツなどの様々な魅力を有している。意見交換会においては、特に歴史や多様な動植物などをSDGsと関連づけ、学習の場として活用できないか提案が出されたところである。

市では現在も渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と連携し、社会科見学の受け入れ等を行っているが、令和6年4月に県がみかも山公園内に青少年教育施設を開設する計画があ

ることから、施設の利用者に学習の場として活用してもらえよう、県及び当該施設運営事業者と連携し、必要な体制の整備を進めること。

また、現在ふるさと納税の返礼品として、熱気球体験やスカイダイビング体験があるが、渡良瀬遊水地で体験できる様々なレジャー・スポーツをPRするため、ウォータースポーツ体験などを返礼品に加えることについて検討すること。

【市の対応】

①「栃木市といえばこれ」のPR強化を

広報課では、本市のプロモーション計画である「Tochigi City Promotion」に基づき、栃木市の魅力を市内外に向けて広く発信するため、各種PR事業に取り組んでおります。

「栃木市といえばこれ！」というものが無いというご指摘については、令和3年度には栃木市産のいちごやぶどうなどのフルーツを題材にした「フルーツスイーツコンテスト」や「フルーツフォトコンテスト」等の実施により、「栃木市と言えばフルーツ！」が浸透するよう、栃木市産のフルーツの魅力発信に取り組ましました。

また、今年度は、重点事業を実施する所管課と連携し、各種検定を実施するなど、栃木市の魅力の掘り起こしや再発見を積極的に行っているところであります。

しかし、現状では各種事業やイベントのPRを、担当課や団体が個別に行っていることが多いため、発信力が弱くなりがちなことを感じております。

今後は本市のさまざまな魅力を、広報課が中心となり、関係課や民間企業、他自治体等と連携しながら、目玉となるコンテンツの創出や、時機を捉えたPRに取り組み、さらに、積極的に情報発信する方法を検討してまいります。（広報課）

② 公共交通を活用した多様なモデルルートの設定

本市は、集客力のある多くの観光資源を有しており、それらの資源間の周遊性を高めるため、「歴史・文化」、「自然」、「食べ物」等をテーマとしたモデルルートを栃木市観光交流館「蔵なび」、栃木市観光協会の観光案内機能を持つ施設やホームページにおいて、積極的に発信しているところでありますが、「恋愛成就」等の新たな視点によるモデルルートの設定についても進めてまいります。

また、資源間を結ぶ交通手段の充実を図るため、交通事業者との連携を強化し、公共交通等を活用したモデルルートを提案し、本市に來訪する観光客の足として情報発信をおこなってまいります。（観光振興課）

③ 渡良瀬遊水地の利活用の促進

ご提言のとおり、渡良瀬遊水地を学習の場として活用していただきたく、県及び当該施設運営事業者に対してPRと情報提供を行い、渡良瀬遊水地への來訪者の増加に向けて連携を図ってまいります。

現在、市ではカヌー体験の指導者の育成にも取り組んでおり、カヌー愛好家の方々が組織する団体には市が主催する体験イベントにおいて運営等のご協力をいただいております。

今後、カヌーをはじめとするウォータースポーツを体験メニューとして返礼品に加えるためには、各団体自らの事業として、体験希望者をいつでも受け入れできる体制を整えていた

だく必要がありますので、引き続き指導者の育成や事業化に向けた支援を行ってまいります。
(渡良瀬遊水地課)

提言事項4 過去の提言事項の実現に向けた努力を

【議会としての提言】

今期4年間の議会報告会は、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、通常どおり各地域で開催できたのは平成30年度のみであったが、代わりに書面や動画等による報告を行ったり、様々な団体と意見交換を行ったりと、市民の意見集約に努めてきた。集約した意見・要望の中で、議会として特に喫緊の課題と考える事項については、提言書という形で市長に提出しており、この提言を除くと、この4年間で21の事項について提言を行ってきたところである。

執行部におかれては、議会がこれまでに提言していたことを真摯に受け止め、確実に実行することが重要であり、提言事項が実現できるように努力すること。特に、提言への回答のうち「検討する」としたものについては、必要に応じて議会に検討状況を報告するなど、継続的に取り組むこと。

【市の対応：検討状況の報告】

平成30年度

提言事項3 とちぎメディカルセンターしもつがの充実（産科開設）について

＜市が検討するとした部分＞

平成30年7月に市医師会、とちぎメディカルセンター、県の協力により「栃木市産科等開設検討委員会」を設置して検討を行い、令和元年6月から11月にかけて産婦さんへアンケート調査等を実施し、安心して子どもを産み育てるために必要な各種施策について改めて検討しているところです。

＜検討状況＞

令和元年6月から11月にかけて、乳幼児の母親を対象に「子どもを産み育てやすい環境整備のためのアンケート調査」を実施したところ、希望する医療機関で出産できたとの回答が約90%あった一方で、出産後、買い物で困っている方が多いことが分かりました。

この結果を踏まえ、安心して出産育児ができる環境を整備するため、多胎妊産婦や産前産後の家事や育児が困難な妊産婦の生活をサポートする「産前産後ヘルパー派遣等事業」を実施することとしました。※令和3年度から実施（健康増進課）

提言事項5 子育て環境の充実について

＜市が検討するとした部分＞

適応指導教室の役割の充実や、他機関との連携、民間との連携についての指示もありましたので、今後、学校に通えない子どもたちへのより良い対応について検討してまいります。

＜検討状況＞

適応指導教室については、引き続き市内5か所を維持し、子どもたちが通いやすい環境を

継続しております。

また、学校現場に詳しい指導員や心理を専門とする指導員が常駐し、子どもたちの心の支援に取り組んでおります。

さらに、子どもたちの居場所として、適応指導教室だけでなく、フリースクール等民間団体との連携を進めるため、令和3年度には、市教委主催でフリースクール等民間団体の方々との情報交換会を実施しました。今後は、不登校や不登校傾向にあるお子さんの保護者の方々を募り、不登校について一緒に考える会を予定しております。（学校教育課）

令和元年度

提言事項5 子育て環境の充実について

＜市が検討するとした部分＞

予防接種の助成拡大については、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されることから、小学校低学年を対象にインフルエンザ予防接種助成の拡大を検討してまいります。

＜検討状況＞

インフルエンザ予防接種の助成拡大については、令和3年度から「小学校就学前まで」から、「小学校2年生まで」に拡大いたしました。（健康増進課）

＜市が検討するとした部分＞

市内子育て支援センターの連携行事や県内児童館の合同行事は、現在新型コロナウイルス感染症の影響で中止しておりますが、子育て世代の皆様が安心して遊ぶことができるような運営を進めるとともに、今後、近隣市と連携したイベント等の開催について検討してまいります。

＜検討状況＞

令和2、3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で施設の休館や自主事業の中止も多く、他自治体においても同様の状況が推測される中、連携事業への声掛けは控えておりました。しかしながら、令和4年2月には県内児童館の合同行事を、そして10月には2年越しに市内地域子育て支援センターの連携行事を開催することができました。

また、児童館については栃木県児童館連絡協議会という組織があり、合同行事も開催しております。

さらに、地域子育て支援センターについては、市外を含めた組織がないことから連携イベントの開催に向け、近隣市に声掛けをしておりますので、賛同をいただけるようであれば、実施に向け協議をしていきます。（子育て支援課）

令和2年度

提言事項2 安心・安全な避難所運営について

＜市が検討するとした部分＞

避難所は、避難者による運営が理想であることから自主防災組織や地域の方と協力体制が取れるよう運営体制の整備を検討いたします。

＜検討状況＞

避難所の開設については、自主防災組織などの団体が市有施設を自主的に避難所として開設できるようにするため、令和3年度末に策定した「指定緊急避難所・指定避難所の選定基準 及び 地元団体等における避難場所としての市有施設の使用について」において、自主防災組織等が市有施設を利用するための条件や協定の締結などについて決めました。

今後においても市有施設の利用について広く周知していくとともに、避難所の担い手となる自主防災組織の組織数を増やすため、広報紙や出前講座などで啓発活動を行ってまいります。（危機管理課）

提言事項5 行政のデジタル化の推進について

＜市が検討するとした部分＞

市の的確な防災情報を発信することが重要でありますので、最新の情報発信の手段や方法について常に研究し、災害対応へのICTの効率的な活用について検討を進めてまいります。

＜検討状況＞

ICTを活用した防災情報の発信については、民間活力の利用に力を入れているところです。既に平成31年には、検索大手のヤフー株式会社と協定を結び、「Yahoo 防災速報アプリ」をはじめとする、同社のICT技術を活かした情報発信を行っているほか、ケーブルテレビ栃木が提供する「cc9 生活安全情報メール」や、NHKの「ニュース・防災アプリ」「データ放送」などの活用について、啓発を行っております。

加えて、広く市民に利用されているSNSを活用することにより、効率的な情報発信ができることから、TwitterやFacebookといった各SNSについて、災害時の利用体制も整えているところです。

また、令和3年度には、株式会社バカンによる避難所の開設・混雑情報配信サービス「VACAN」の利用を新たに開始するなど、既存のツールだけでなく、新たなICTツールについても、その有効性を検証しながら、今後とも活用を進めてまいります。（危機管理課、デジタル推進課）

令和4年度議会報告会結果報告書

公開日：令和5年2月24日

作成者：栃木市議会 議会報告会運営委員会

問い合わせ先

栃木市議会事務局 議事課 議会総務係

TEL：0282-21-2503